

2024年3月期第1四半期決算の概況



2023年7月27日(木)

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 朝倉 智也

連結決算の概況

連結業績

売上高、経常利益、当期利益は過去最高を更新
売上高は4期連続の増収、営業利益、経常利益は3期連続の増益

(単位:百万円)

	2023年3月期 第1四半期 (2022年4月～6月)	2024年3月期 第1四半期 (2023年4月～6月)	増減率 (%)
売上高	2,007	過去最高 2,446	21.8
営業利益	515	542	5.1
経常利益	621	過去最高 679	9.3
当期利益	361	過去最高 434	20.2

※当期利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を意味する。

主要なサービス別の売上高の増減

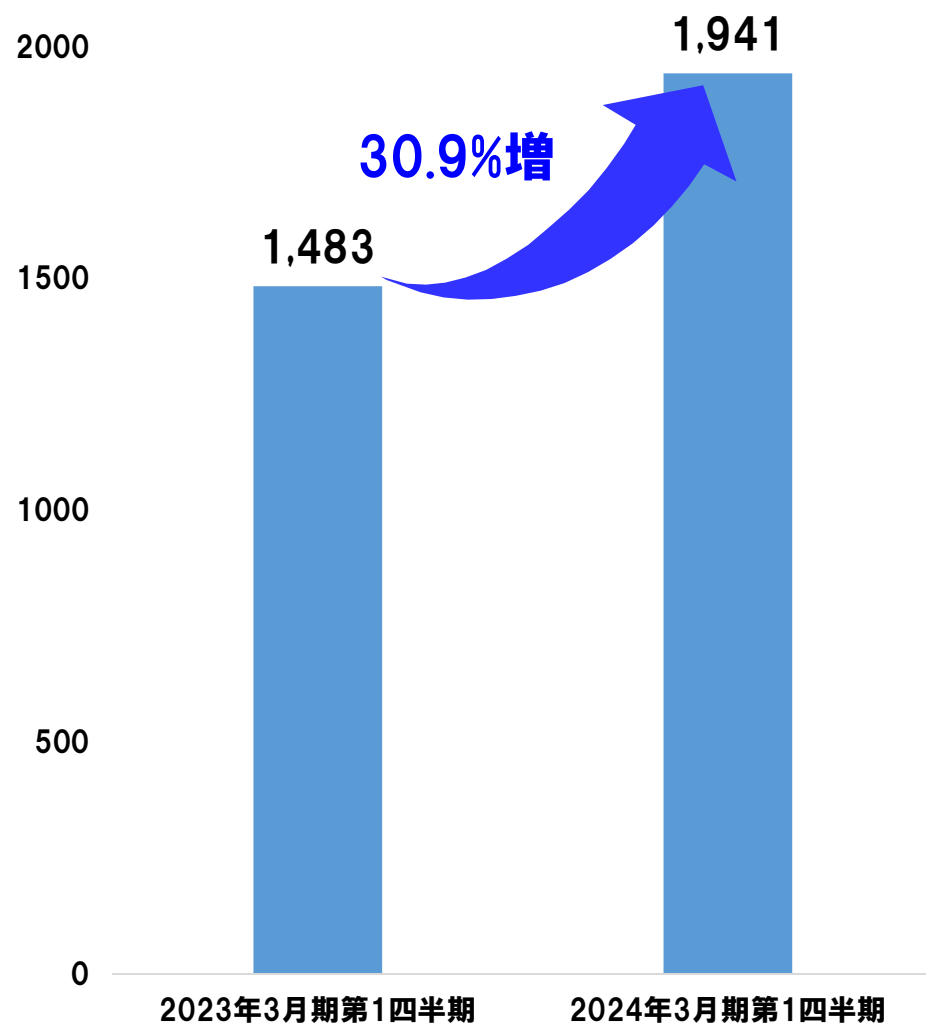
(単位:百万円)

サービス名称		2023年3月期 第1四半期 (2022年4月～6月)	2024年3月期 第1四半期 (2023年4月～6月)	増減率 (%)
アセットマネジメント事業	SBIアセットマネジメント (信託報酬:運用報酬)	1,118	1,576	41.1
	CARRET Asset Management (運用報酬)	357	364	1.9
ファイナンシャル・ サービス事業	タブレット端末向けのデータ (定常的)	162	165	1.9
	スマートフォン、PC向けのデータ (定常的)	224	239	6.6
	スマートフォン、PC向けのデータ (一時開発)	12	0	-
	メディア・ソリューション	71	65	-8.5

セグメント別の売上高

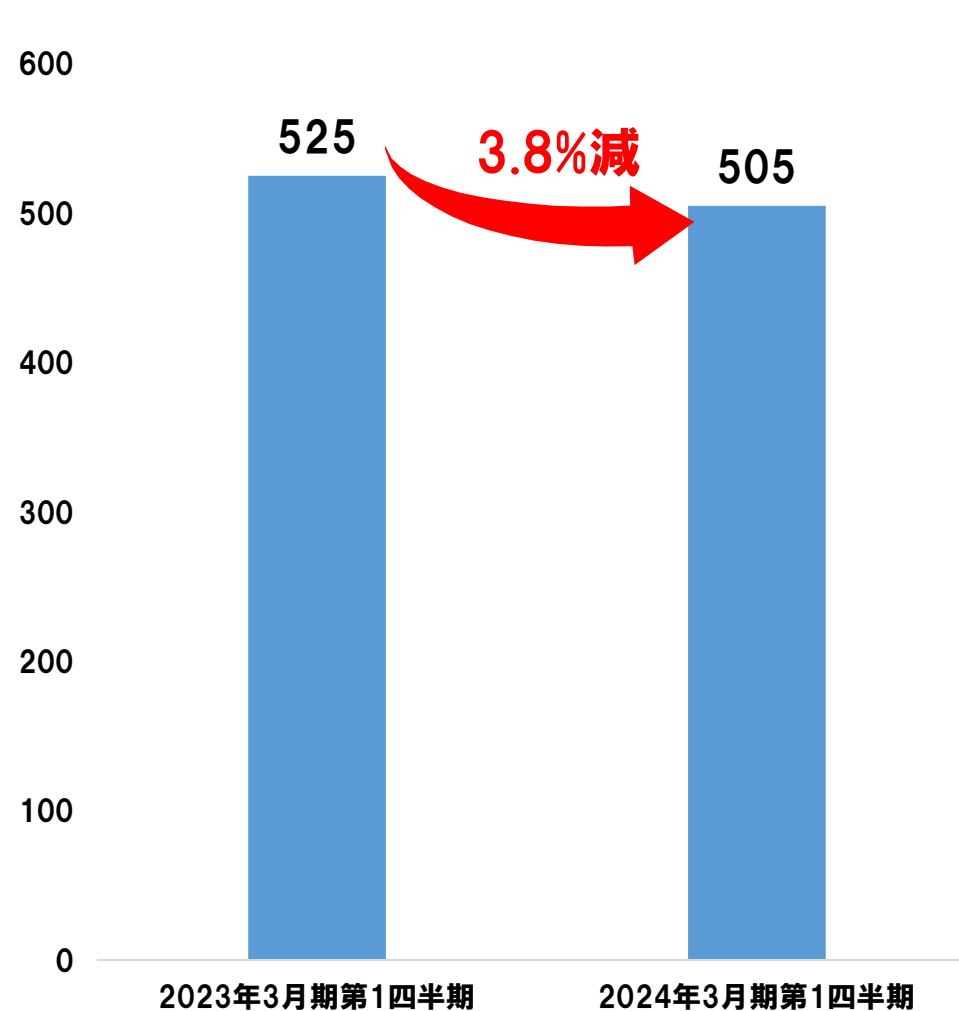
<アセットマネジメント事業>

(単位:百万円)



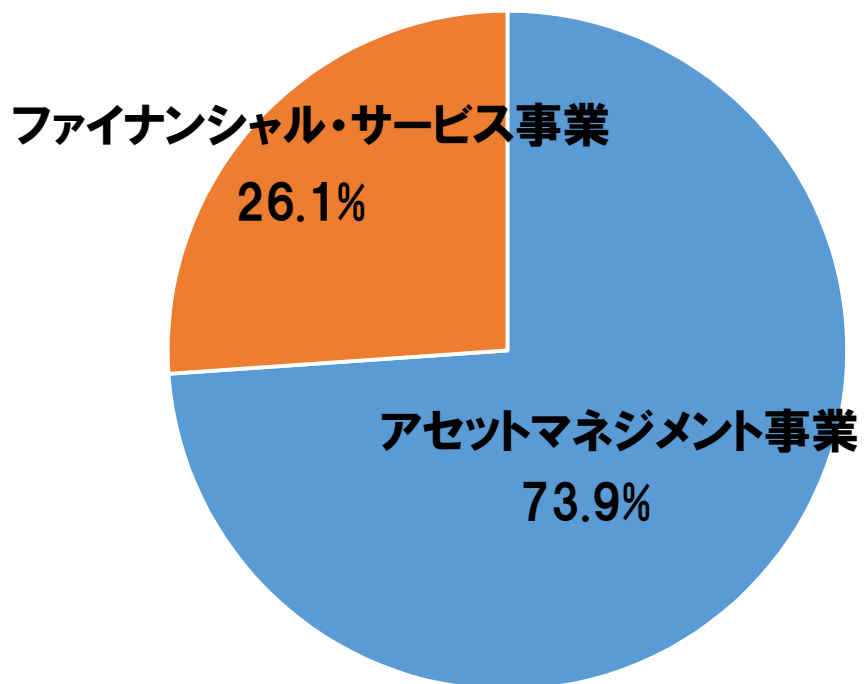
<ファイナンシャル・サービス事業>

(単位:百万円)

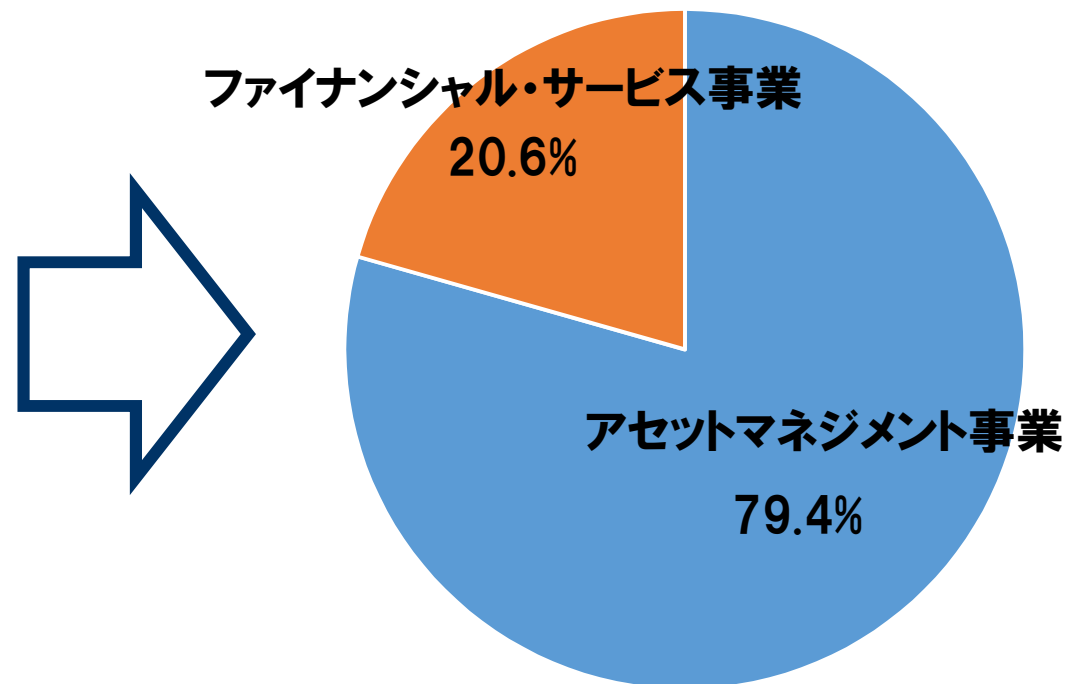


セグメント別の売上高構成比

<2023年3月期第1四半期>



<2024年3月期第1四半期>

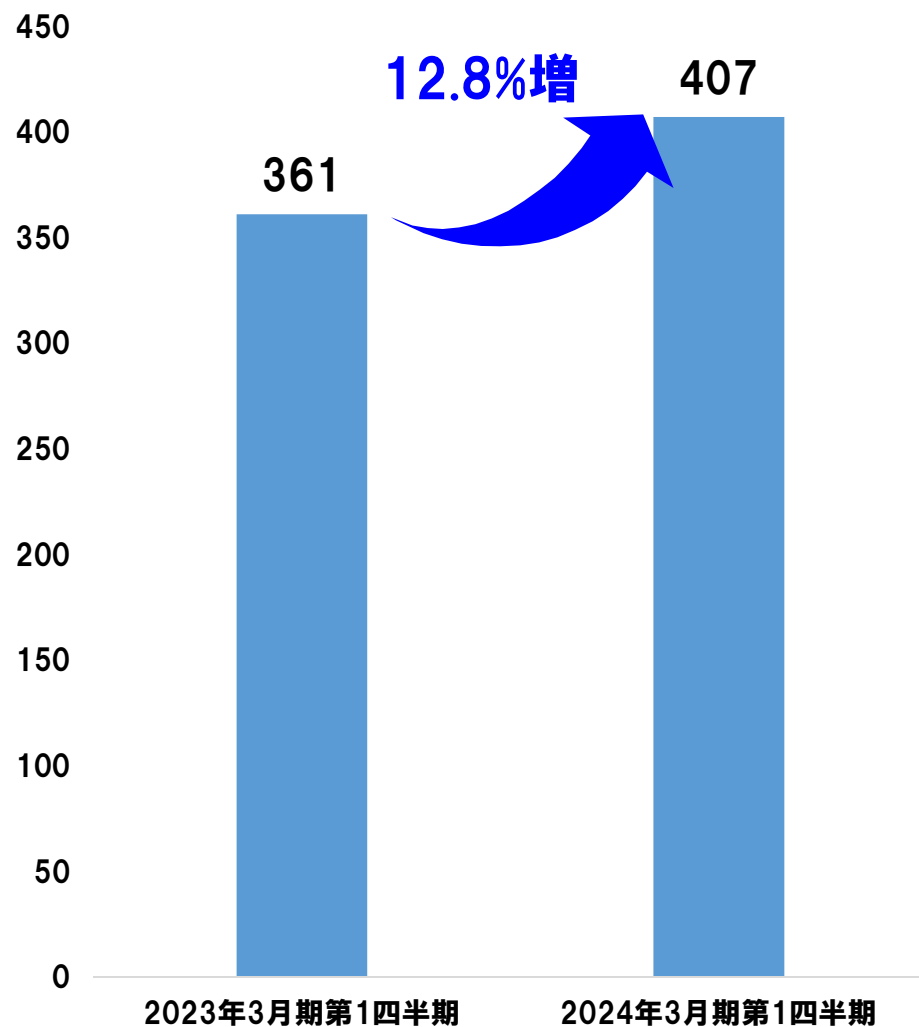


セグメント別の営業利益

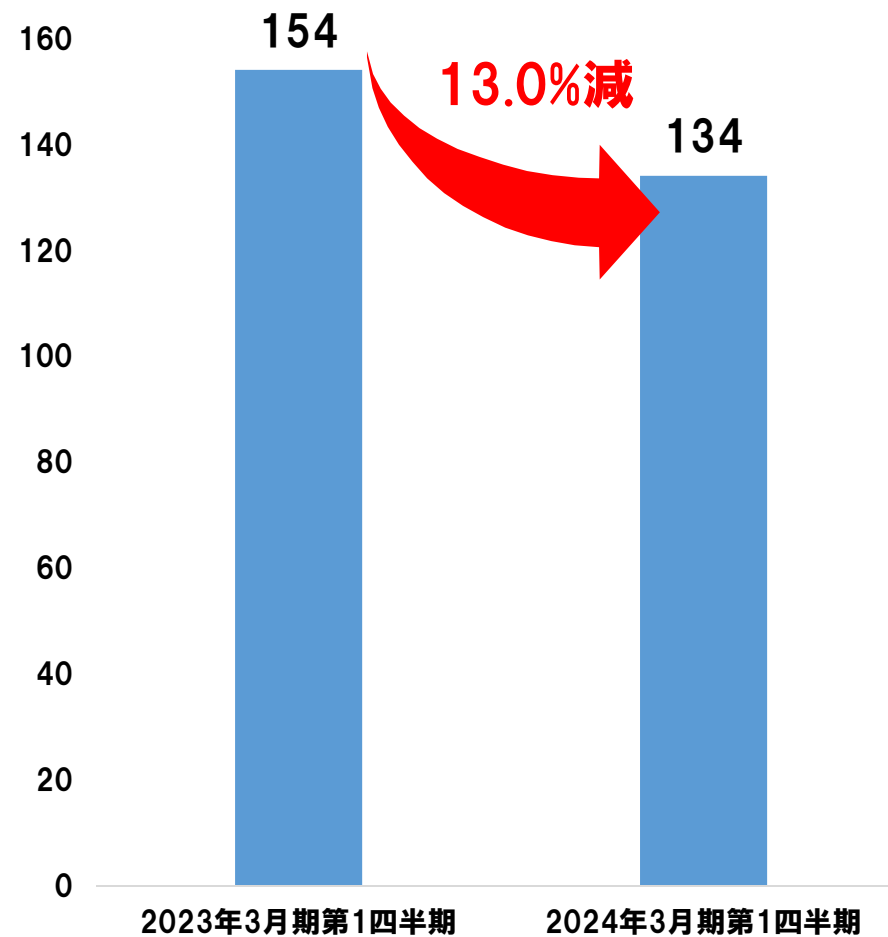
<アセットマネジメント事業>

<ファイナンシャル・サービス事業>

(単位:百万円)



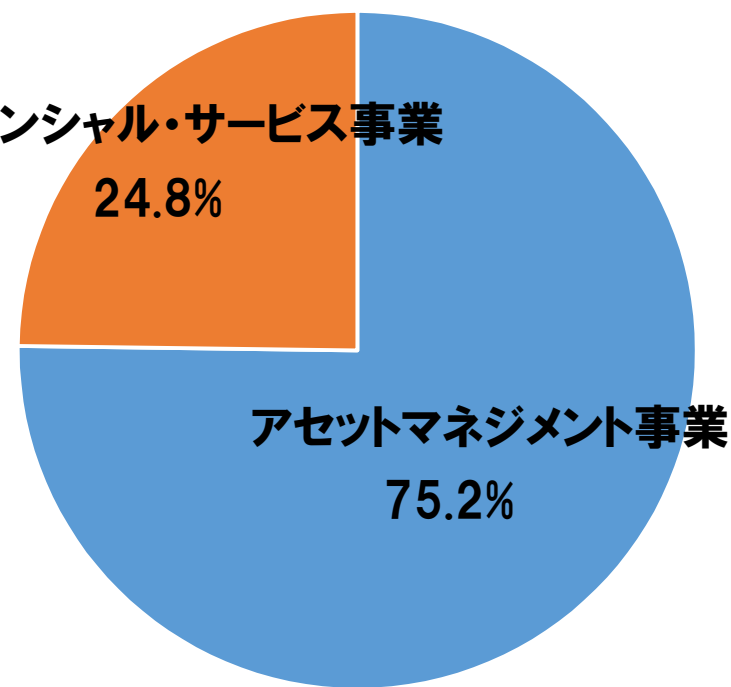
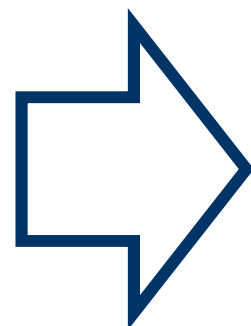
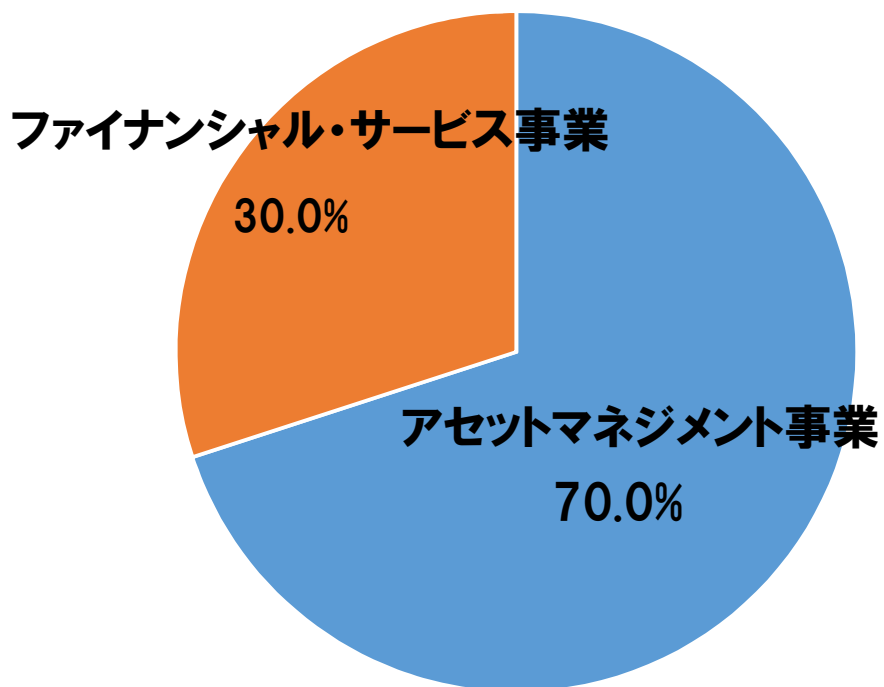
(単位:百万円)



セグメント別の営業利益構成比

<2023年3月期第1四半期>

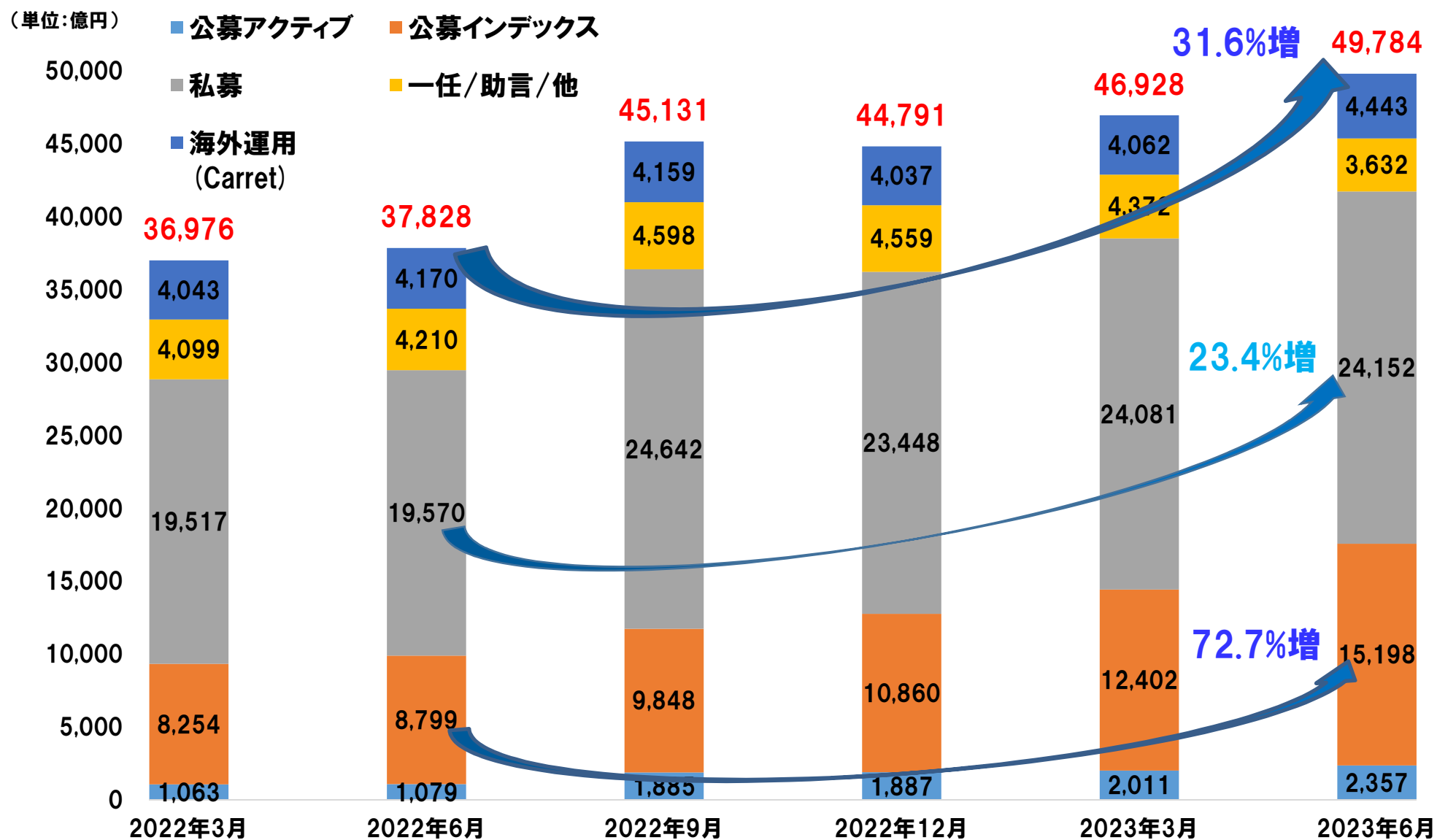
<2024年3月期第1四半期>



拡大を続けるアセットマネジメント事業

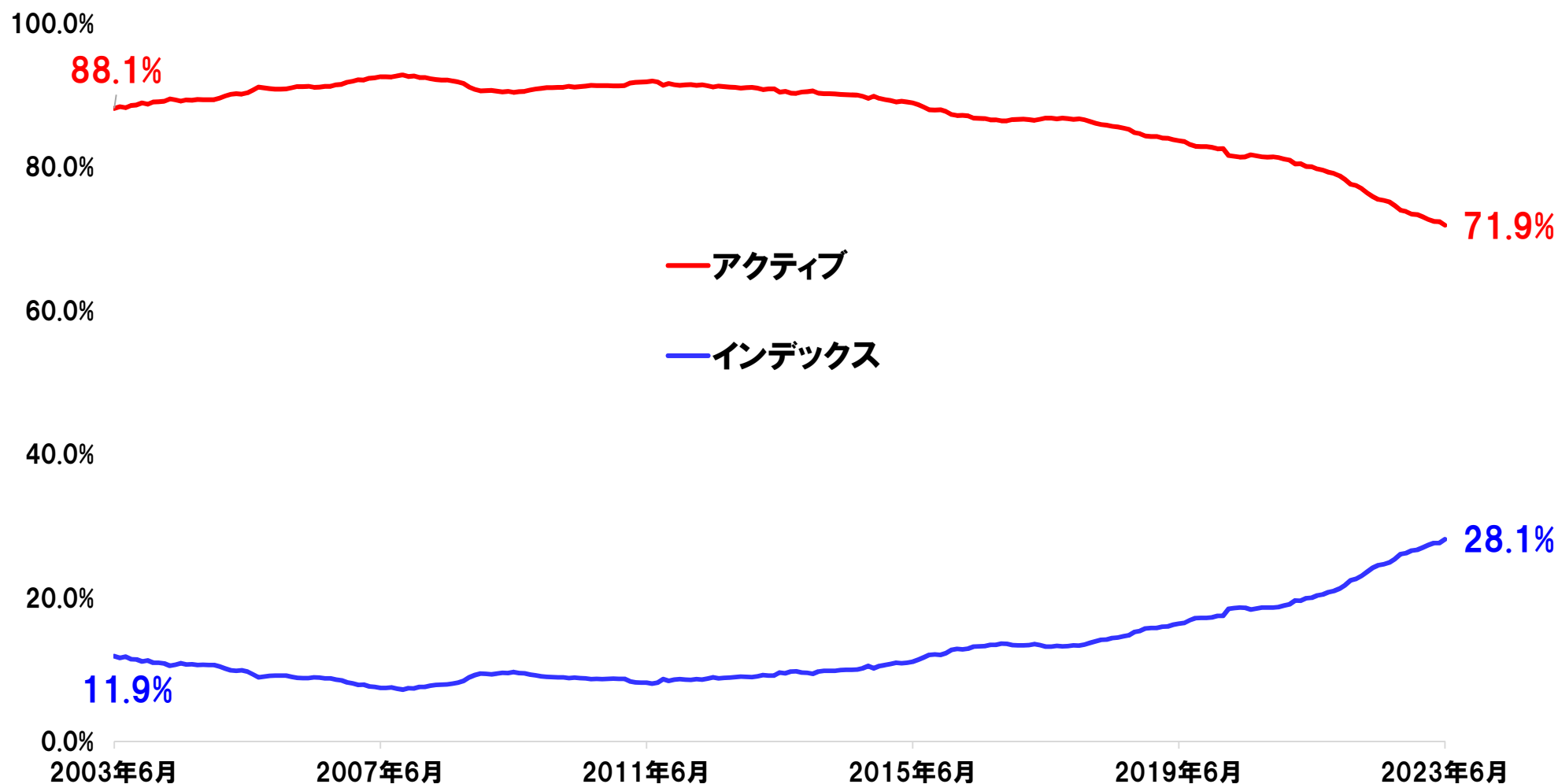
当社グループの運用残高は約5兆円まで拡大

当社グループ全体の運用残高の推移



公募投信のアクティブ・インデックスの比率

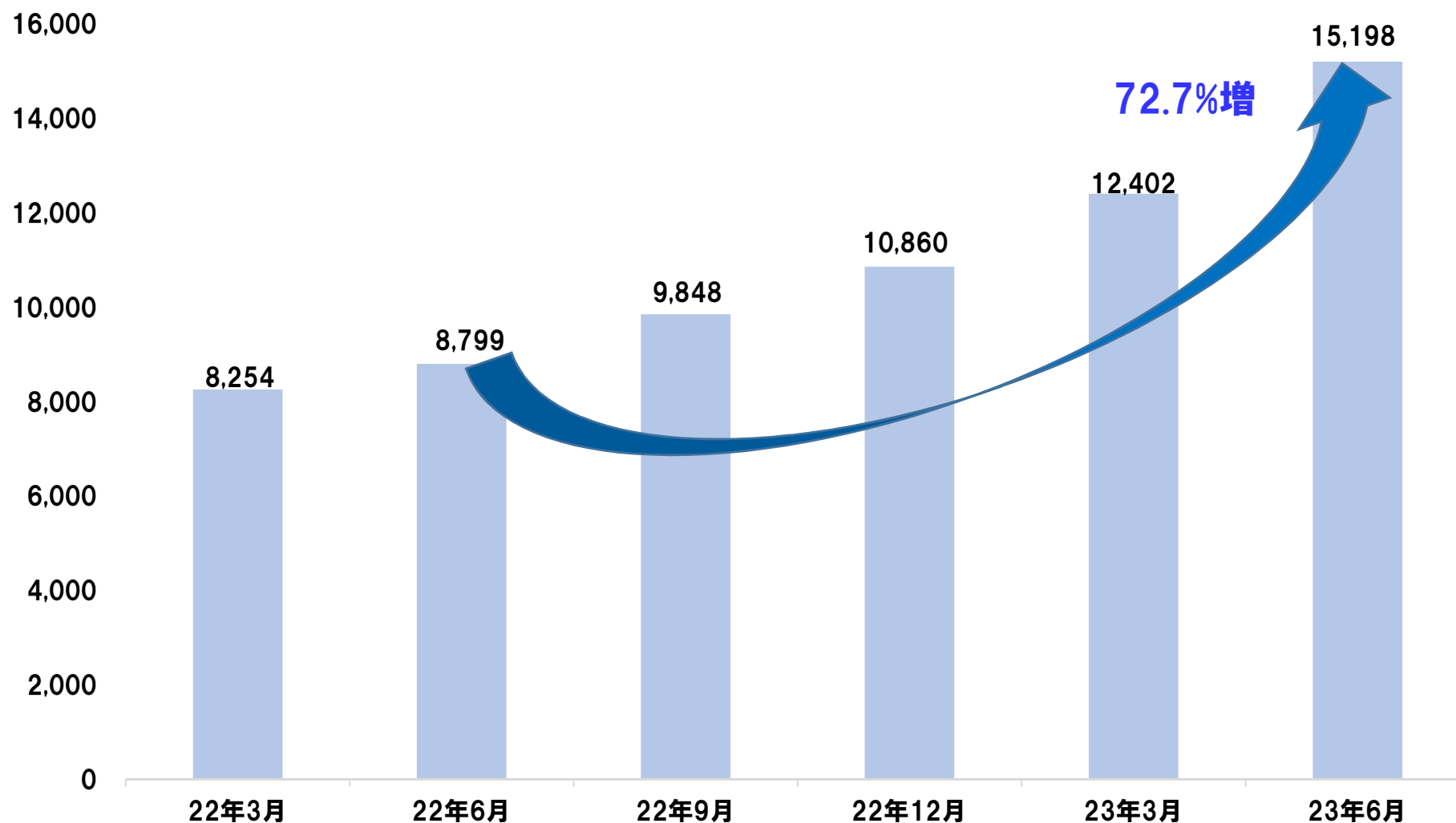
全体に占めるインデックスファンドの構成比は上昇を続ける



※ 国内籍ファンド＝国内公募追加型株式投信(ETF除く)、アクティブ・インデックス＝投信協会基準
※ 期間：2003年6月～2023年6月(月次)

SBIアセットマネジメントの インデックスファンド運用残高の推移

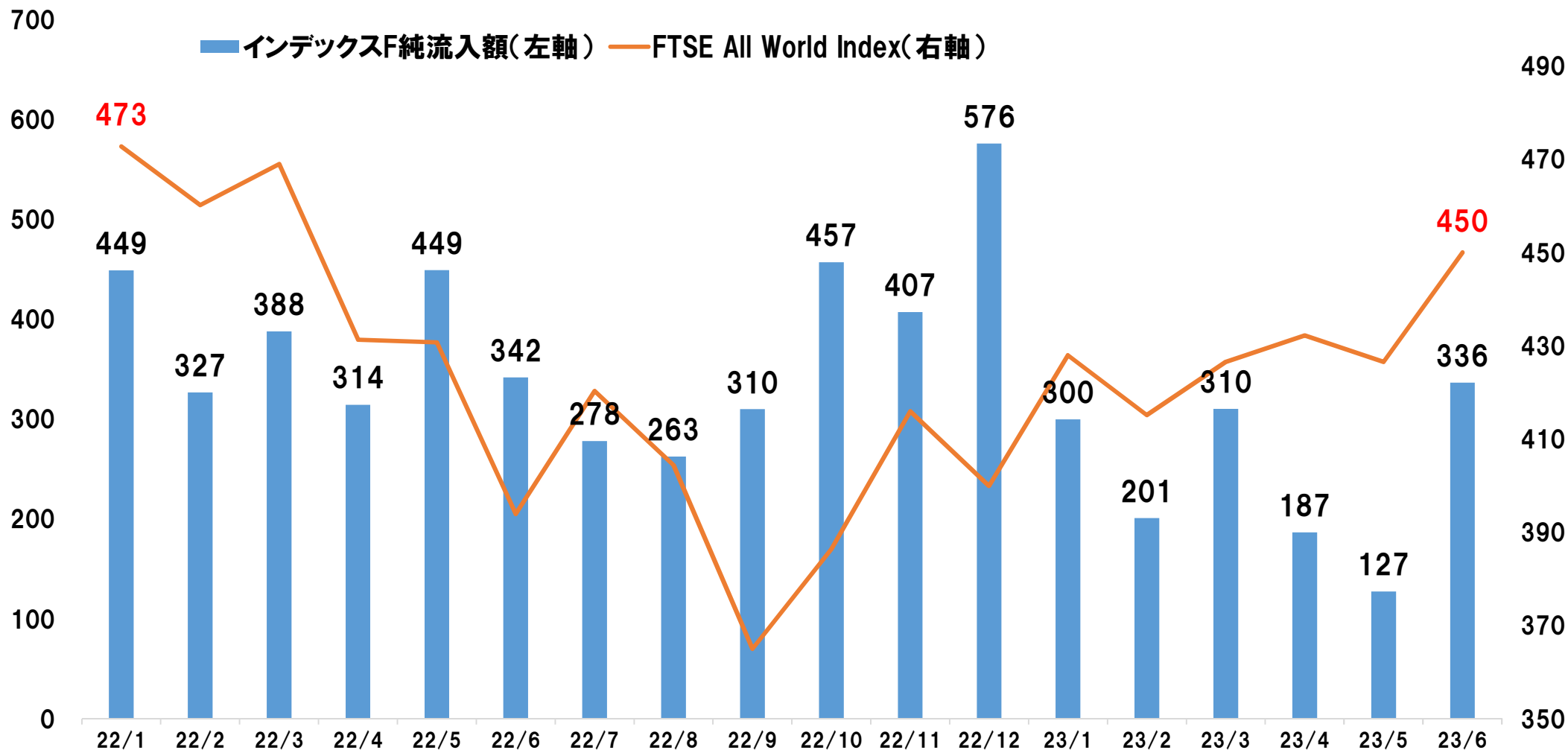
(単位:億円)



SBIアセットマネジメントの インデックスファンドの月次純資金流入額

(単位:億円)

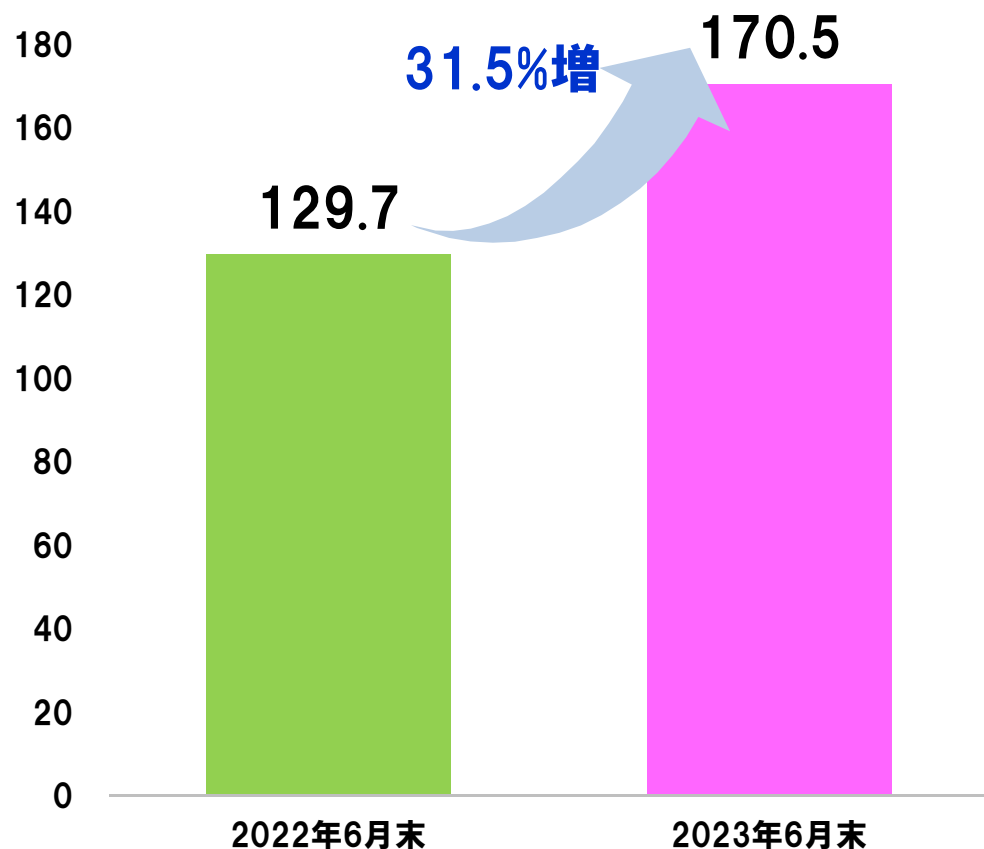
(単位:ポイント)



SBIアセットマネジメントのインデックスファンドの 受益者数と積立口座数の伸び

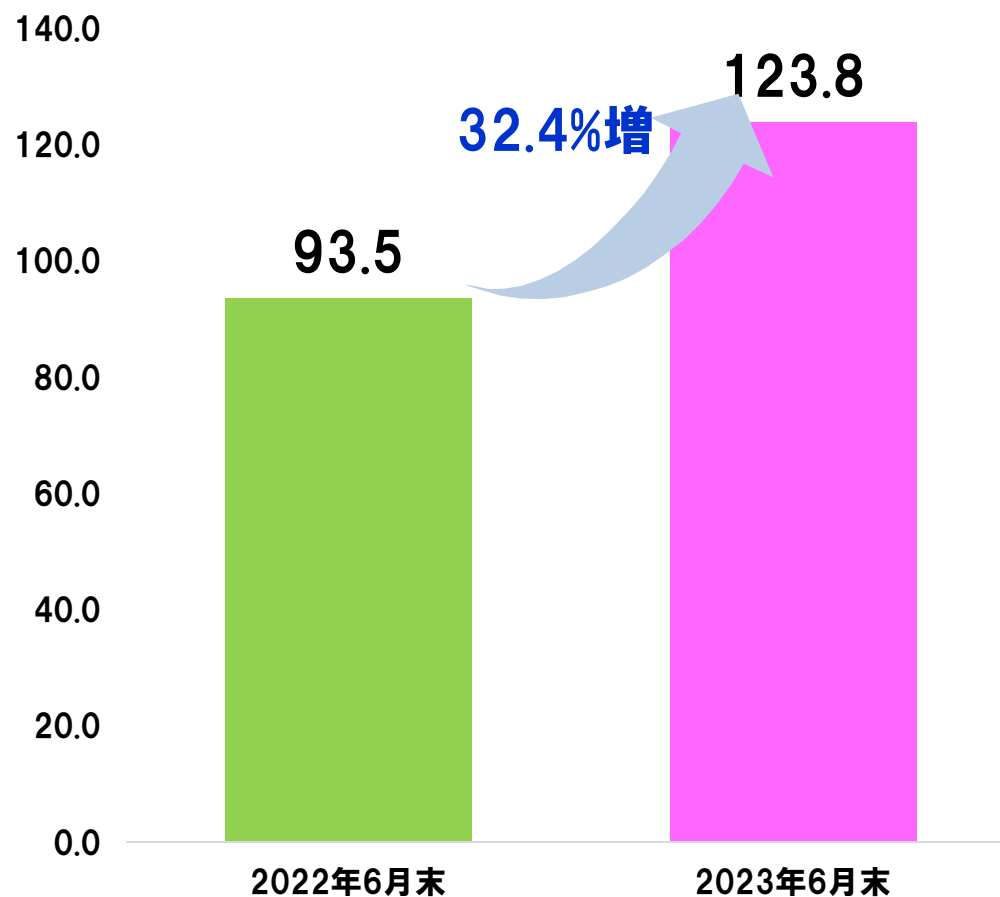
<受益者数>

(単位:万人)



<積立口座数>

(単位:万口座)



※ 受益者数と積立口座登録者数はSBI証券1社のみの数字

公募インデックスファンドの純資金流入額ランキング (2022年6月～2023年6月)

順位	運用会社	純資金流入累計額 (億円)	ファンド数 (本)
1	三菱UFJ国際	18,468	161
2	SBIアセット	4,152	25
3	楽天	3,828	10
4	野村	3,790	129
5	大和	2,912	131
6	三井住友DS	2,153	68
7	アセマネOne	1,366	89
8	ニッセイ	1,288	49
9	三井住友TAM	914	89
10	インベスコ	576	13
31社合計		40,433	942

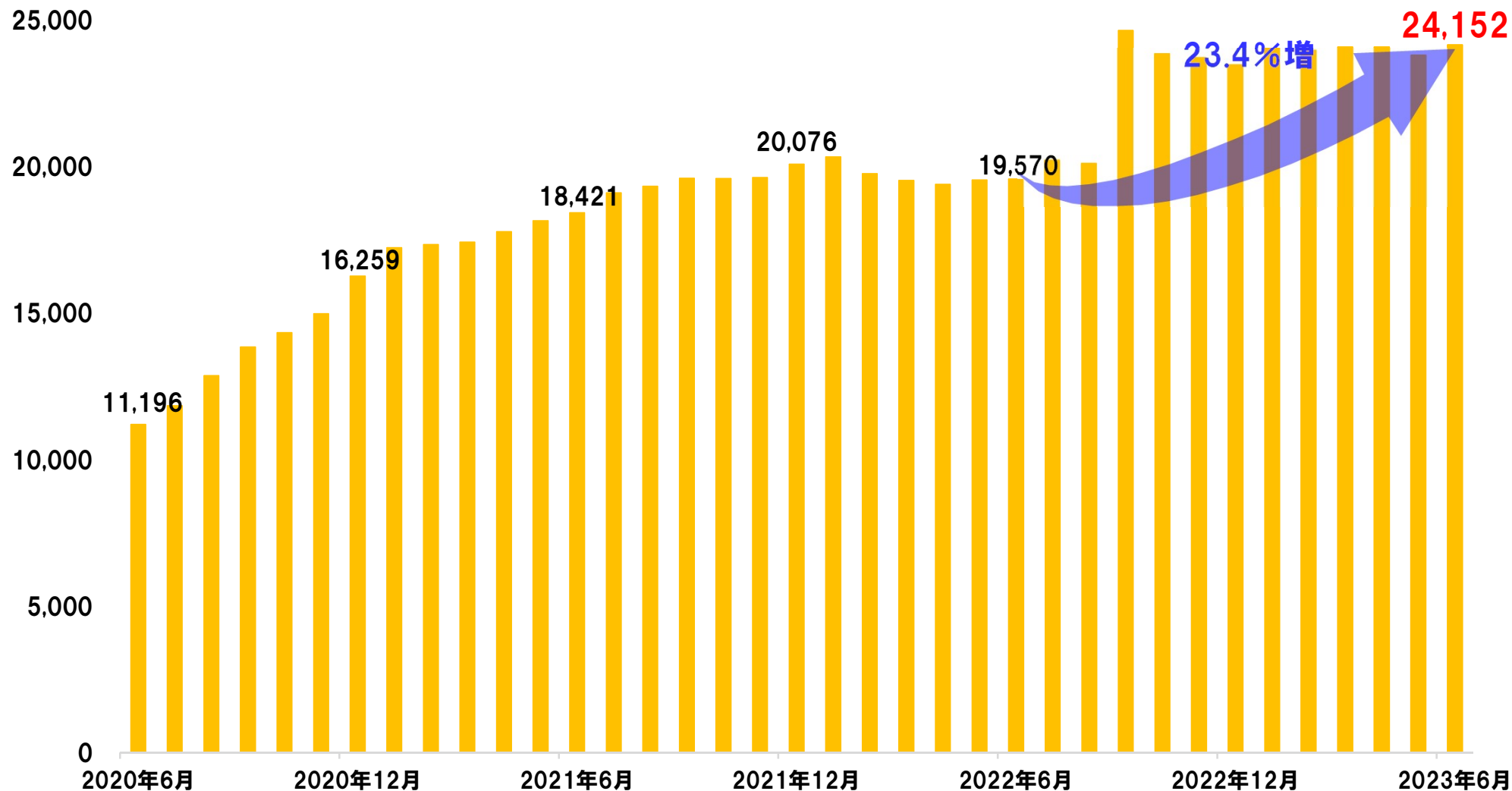
※ 国内公募追加型株式投信(ETF等除く)のうち、投信協会基準でインデックスに属するファンド

※ ファンド数は2023年6月末時点

※ 投信協会のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

SBIアセットマネジメントの私募投信の運用残高

(単位：億円)

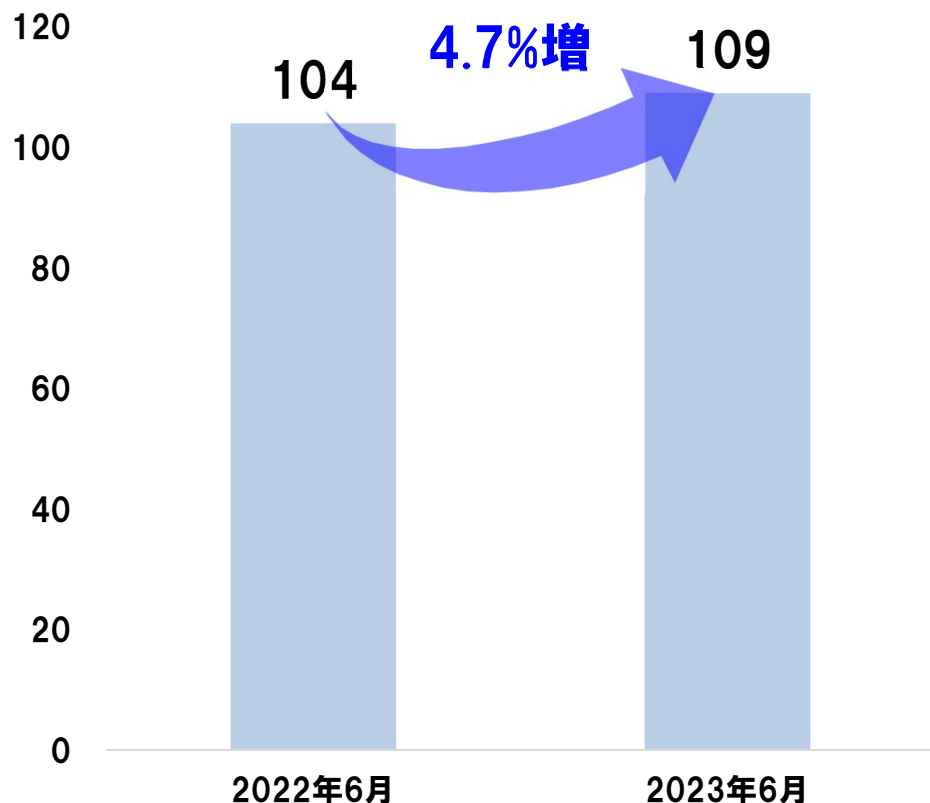


※ 新生インベストメントは2022年9月から計上。2023年6月末現在。

投信業界全体とSBIアセットマネジメントの私募投信残高

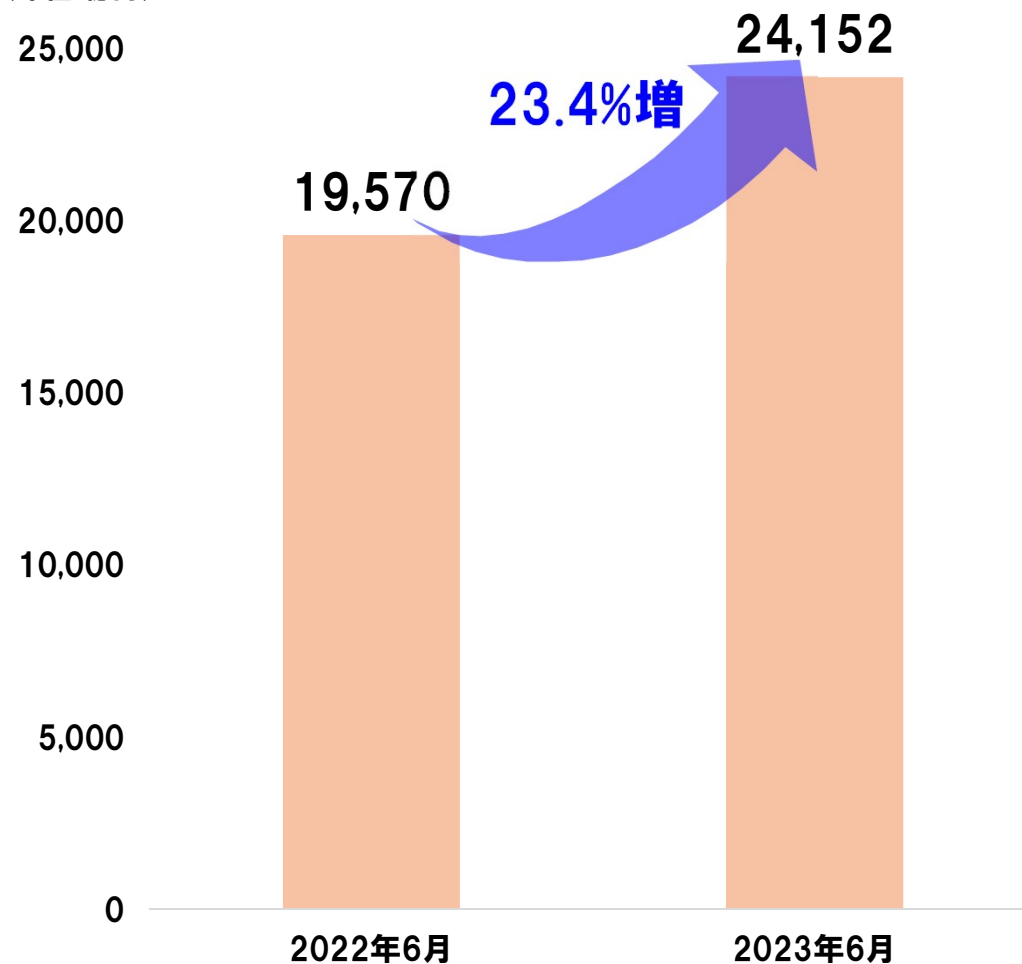
<投信業界全体の私募投信残高>

(単位:兆円)



<SBIアセットマネジメントの私募投信残高>

(単位:億円)



※出所:一般社団法人投資信託協会のデータ

私募投信残高の伸び率の比較

(2023年6月末時点)

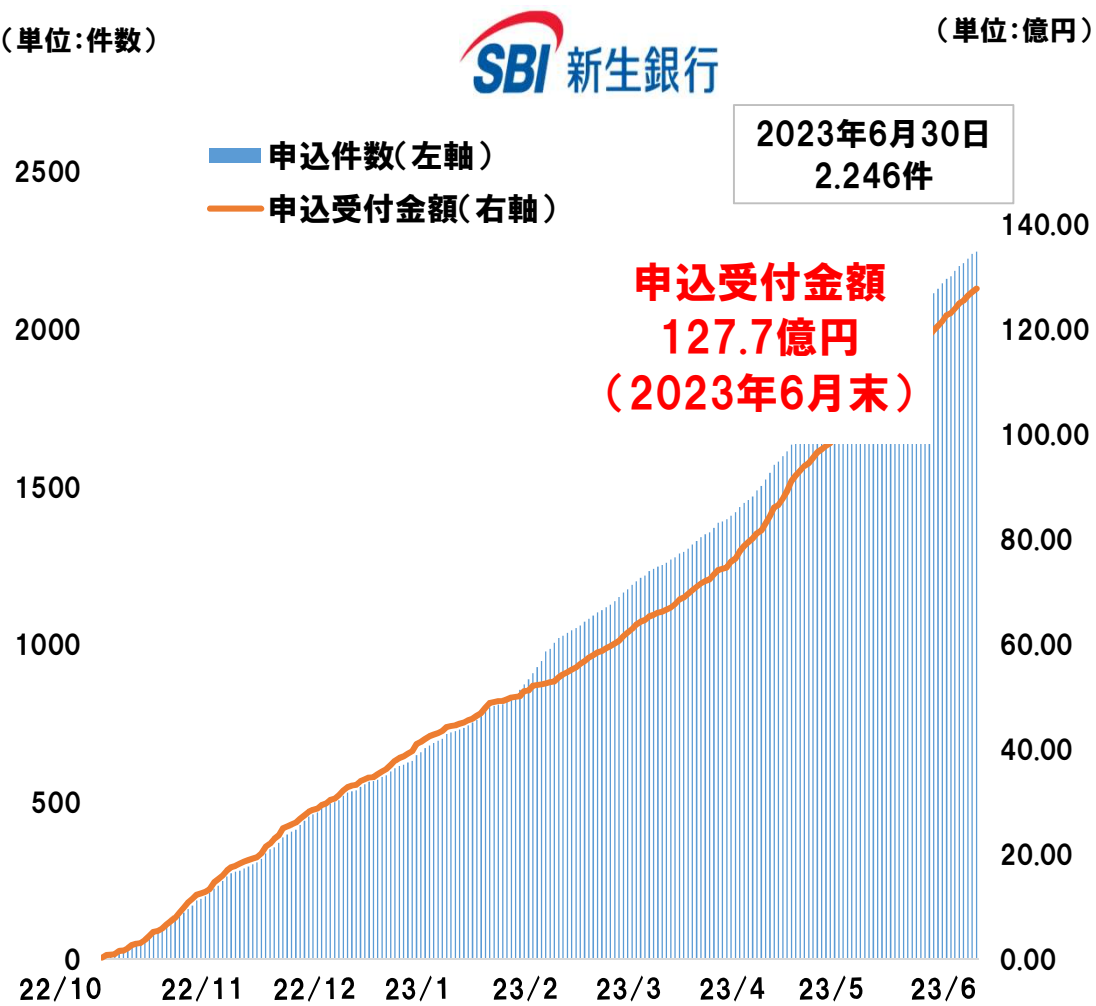
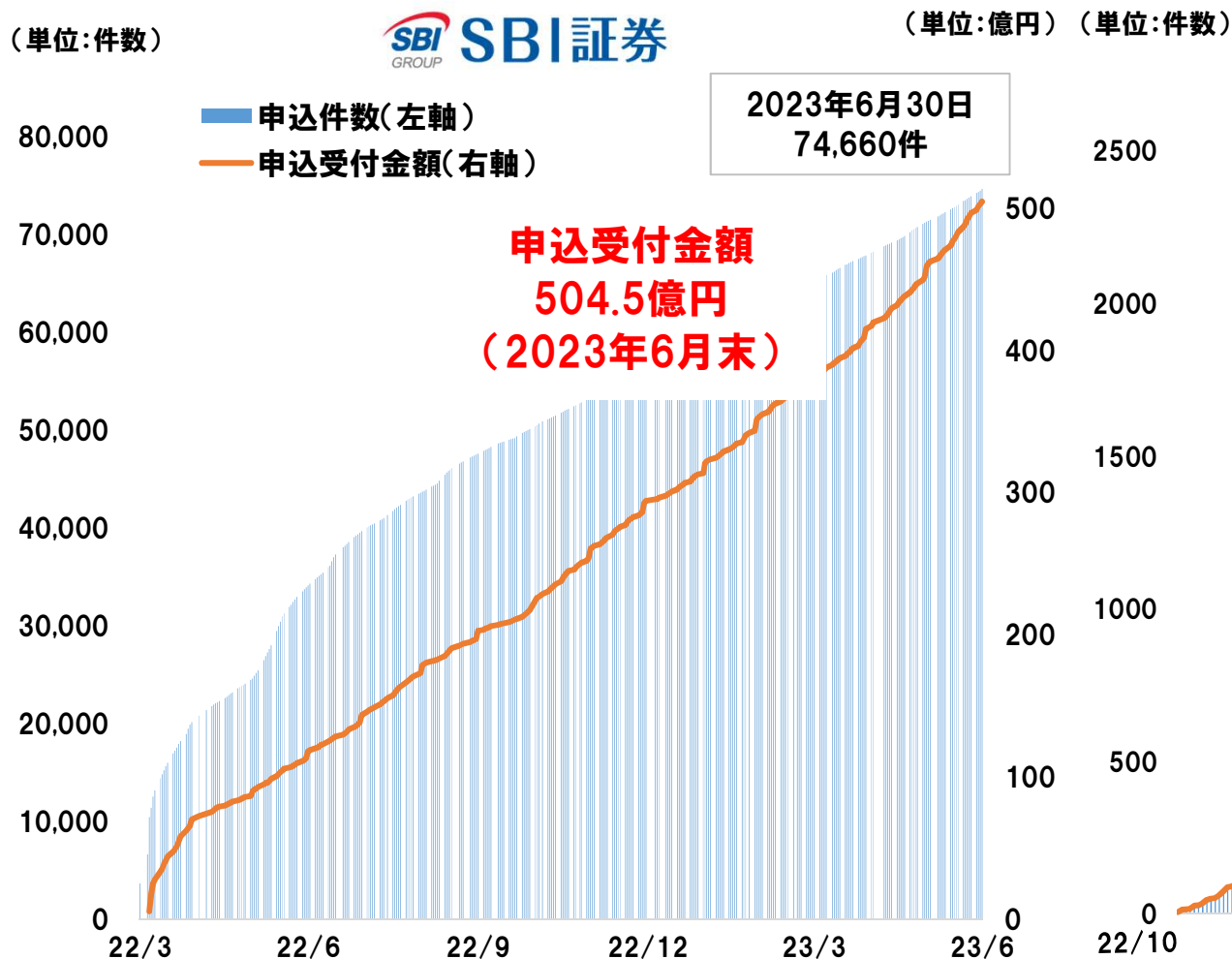
(純資産残高1兆円以上の運用会社でのランキング)

	運用会社名 (略称)	純資産残高 (億円)	前年同期末比 伸び率
①	東京海上	24,195	69.3%
②	三菱UFJ国際	76,368	47.0%
③	ゴールドマン・サックス	20,379	39.0%
④	インベスコ	46,342	26.4%
⑤	SBIアセット	24,152	23.4%
⑥	アムンディ	15,812	20.8%
⑦	ステートストリート	29,585	12.4%
⑧	アクサ	20,629	12.3%
⑨	大和	17,856	11.8%
⑩	SOMPO	13,596	7.8%

SBIアセットマネジメントが運用するファンドの 「SBIラップ」と「SBIラップX(クロス)」は合計632億円

＜SBIラップ＞
(2022年3月末～2023年6月末)

「SBIラップX(クロス)」
(2022年10月20日～2023年6月末)



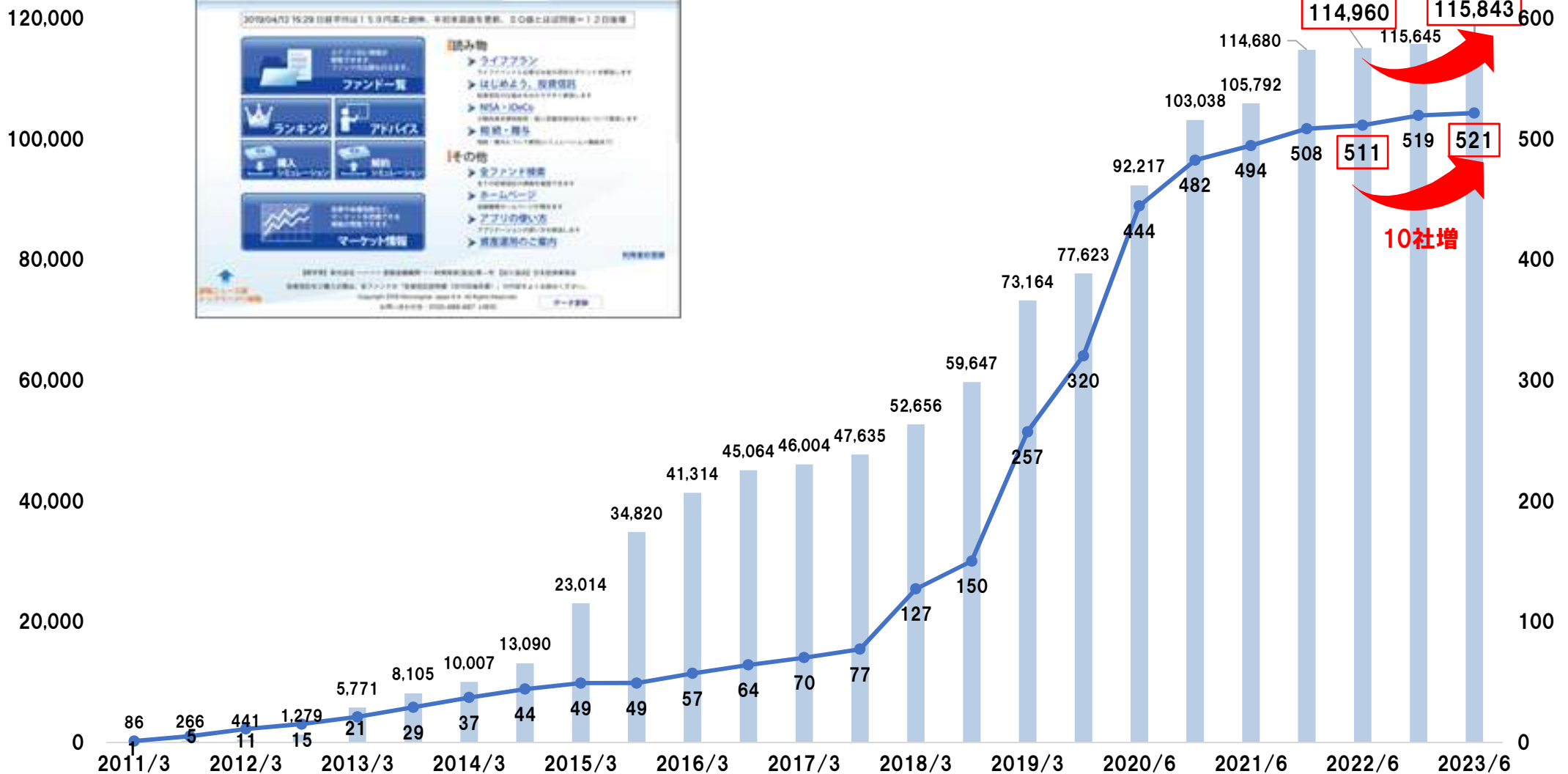
データソリューションが堅調に推移する ファイナンシャル・サービス事業

「Wealth Advisor」は高付加価値サービスの提供へ

「Wealth Advisor」の提供社数と提供台数の推移

(単位:台数)

(単位:社数)



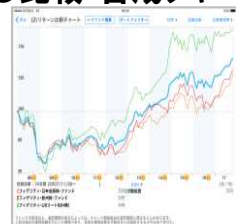
883台増

10社増

顧客残高情報連携(CRM)の提供社数は増加



- 比較・合成チャート
- ポートフォリオ分析
- リスク・リターン分析

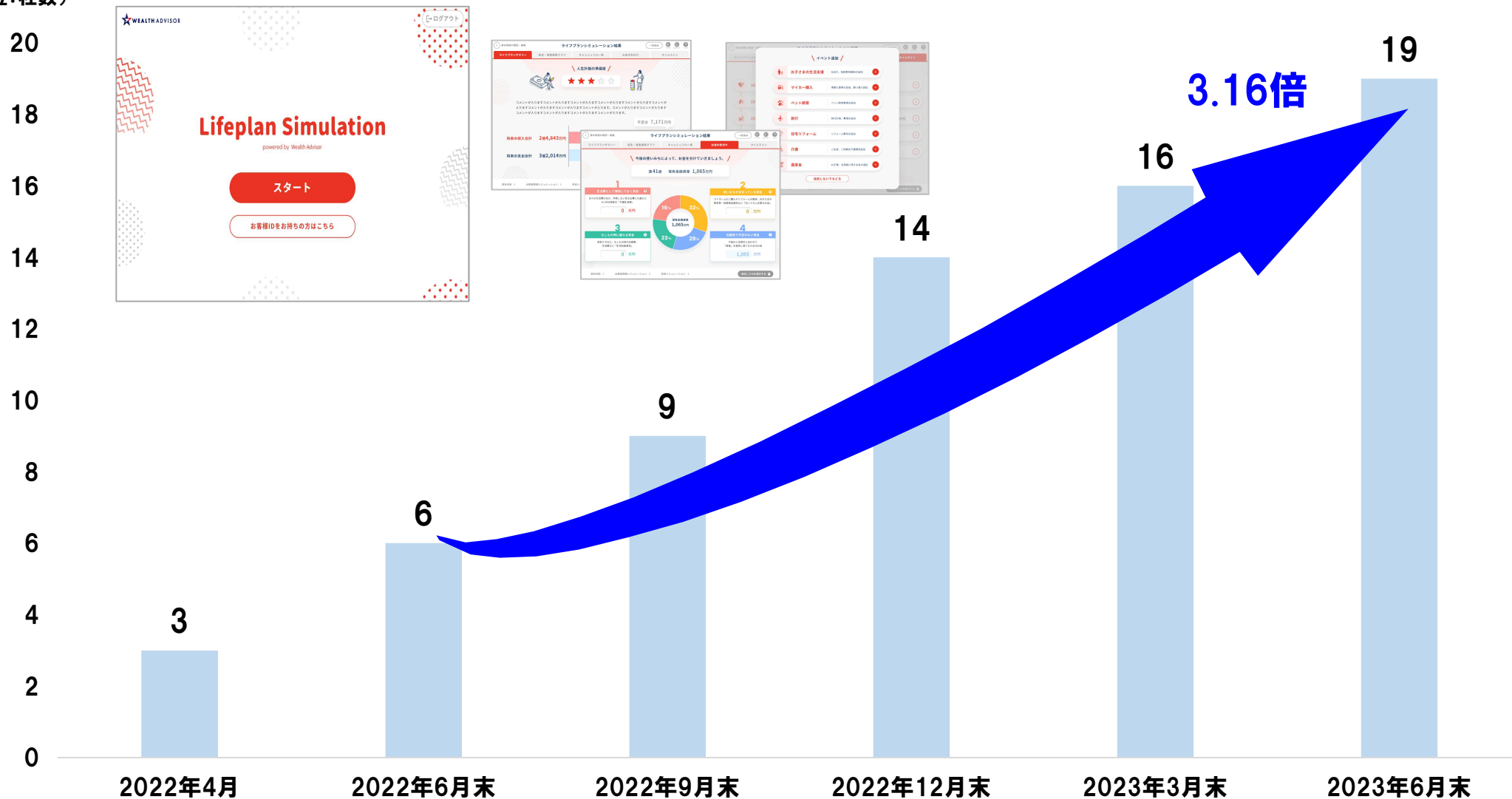


「ライフプランシミュレーション」のニーズが拡大

提供社数は前年同期末比で3倍強

ビッグデータ活用型: ライフプランシミュレーション

(単位: 社数)



オンラインコンテンツはスマートフォンアプリ向けに順調に拡大

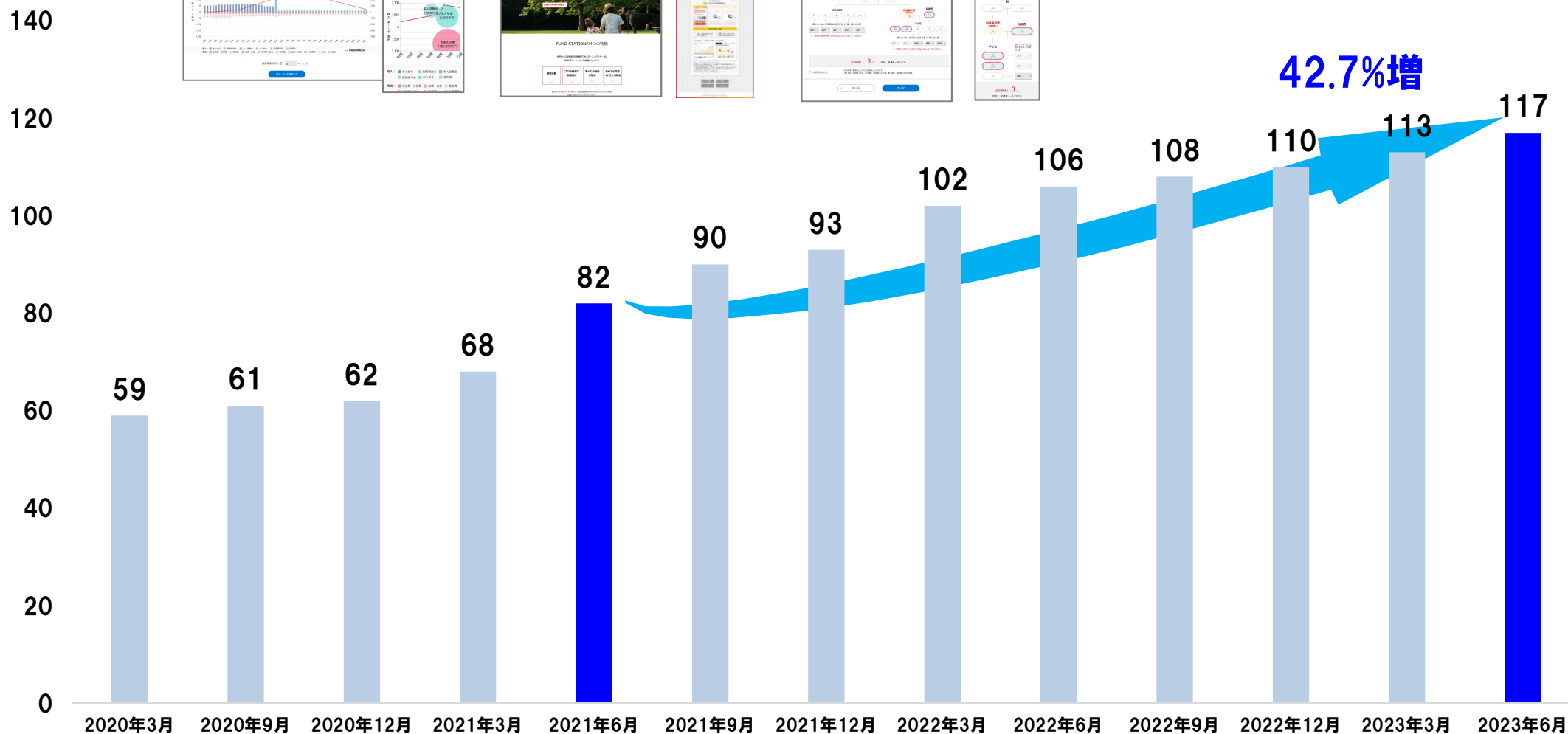
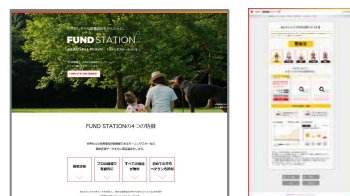
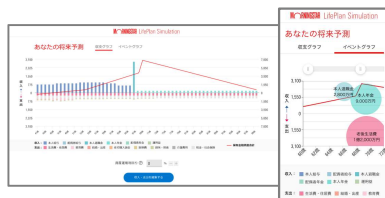
オンラインコンテンツの提供社数

ライフプランシミュレーション

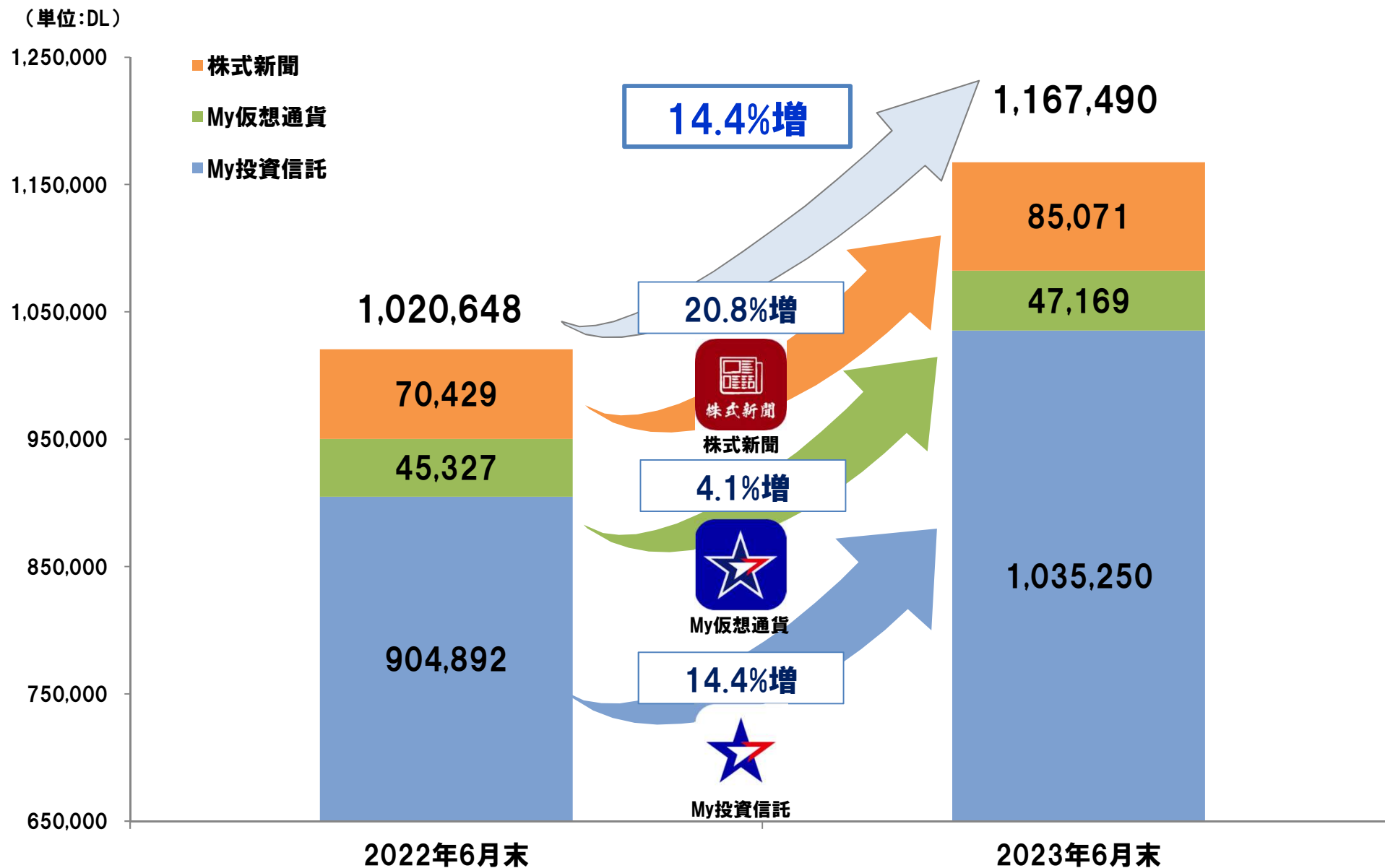
ロボ・アドバイザー

相続シミュレーション

(単位：社数)



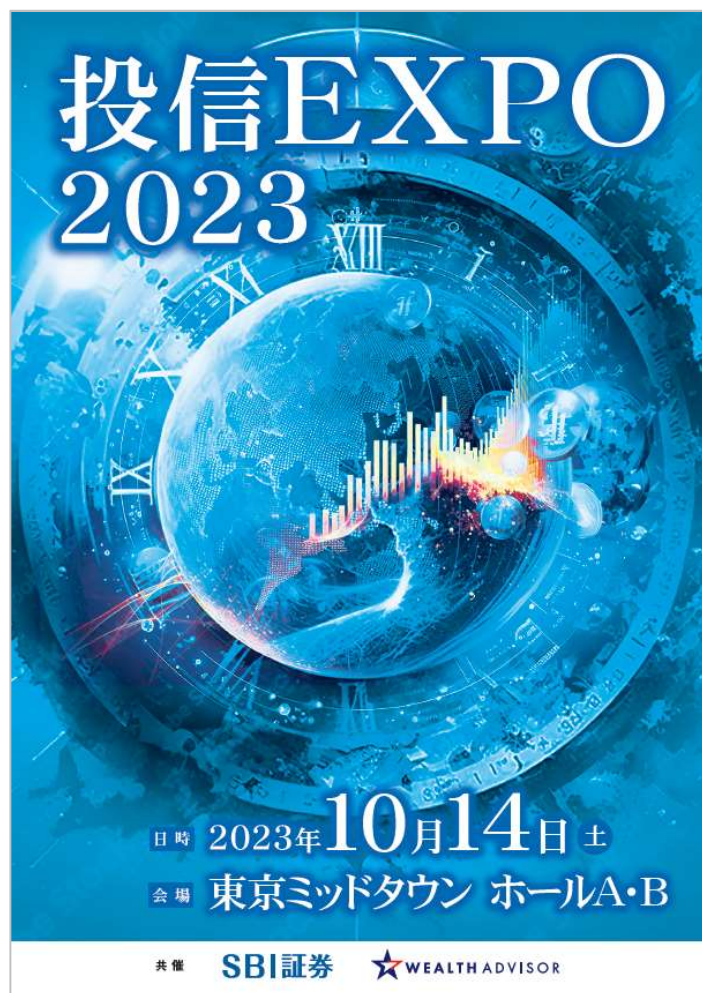
スマートフォンアプリ全体の ダウンロード数は継続して二桁の伸び



来年の「新NISA」をにらみ 資産運用セミナーのニーズが拡大

2023年10月14日(土) 東京ミッドタウン
SBI証券×ウェルズアドバイザー「投信EXPO2023」

3,000名規模



<販売金融機関主催型の企画>

- ・2023年09月30日(土)
地方銀行タイアップフェア(北関東) 400名規模
- ・2023年11月11日(土)
地方銀行タイアップフェア(近畿) 300名規模
- ・2023年11月18日(土)
メガバンクタイアップフェア(東京) 2,000名規模

<自社の企画・開催>

- ・2023年12月10日(日) 東京国際フォーラムD7
新NISAイベント 1,000名規模
- ・2024年1月20日(土) 東京ミッドタウン
新春カンファレンス2024 1,000名規模

今後の事業拡大戦略

「新しいNISA」で伸びる市場規模

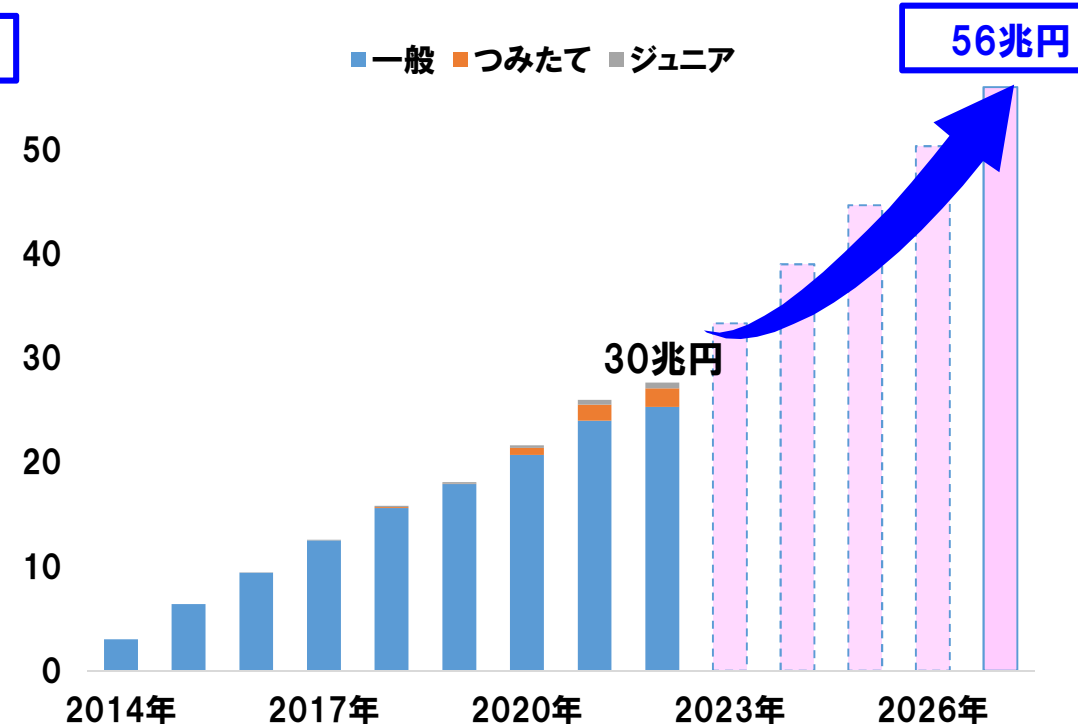
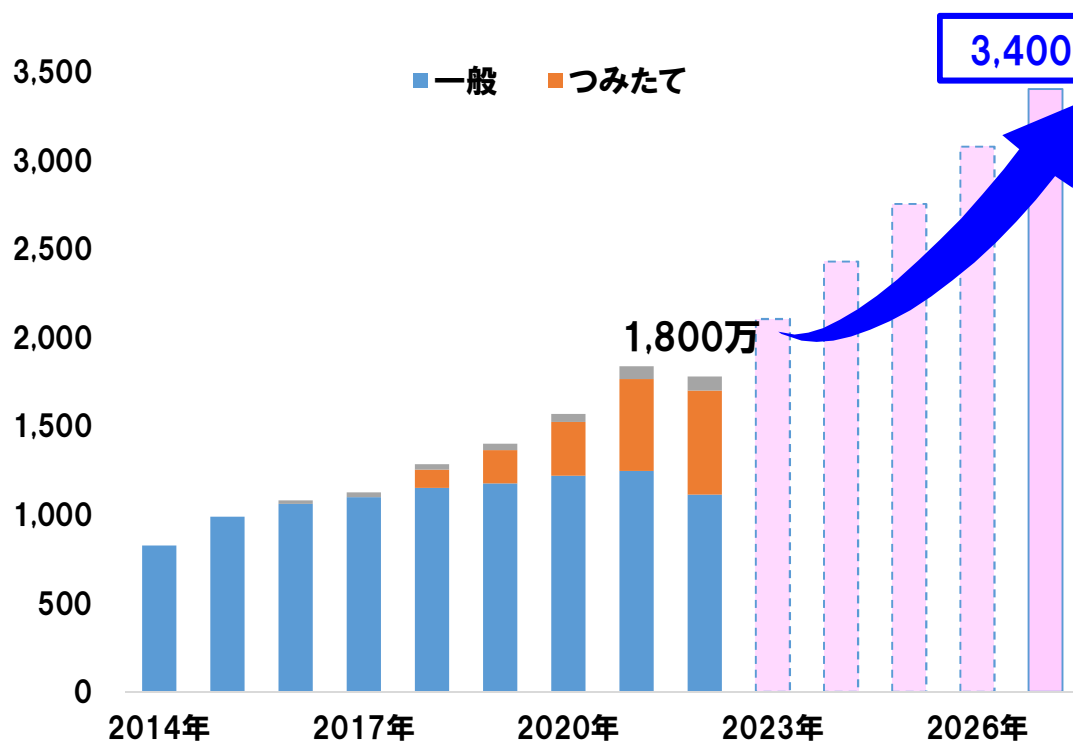
「資産所得倍増プラン」において、今後5年間で3,400万口座、56兆円を目標

<NISA口座数の推移>

<NISA買付額の推移>

(単位:万口座)

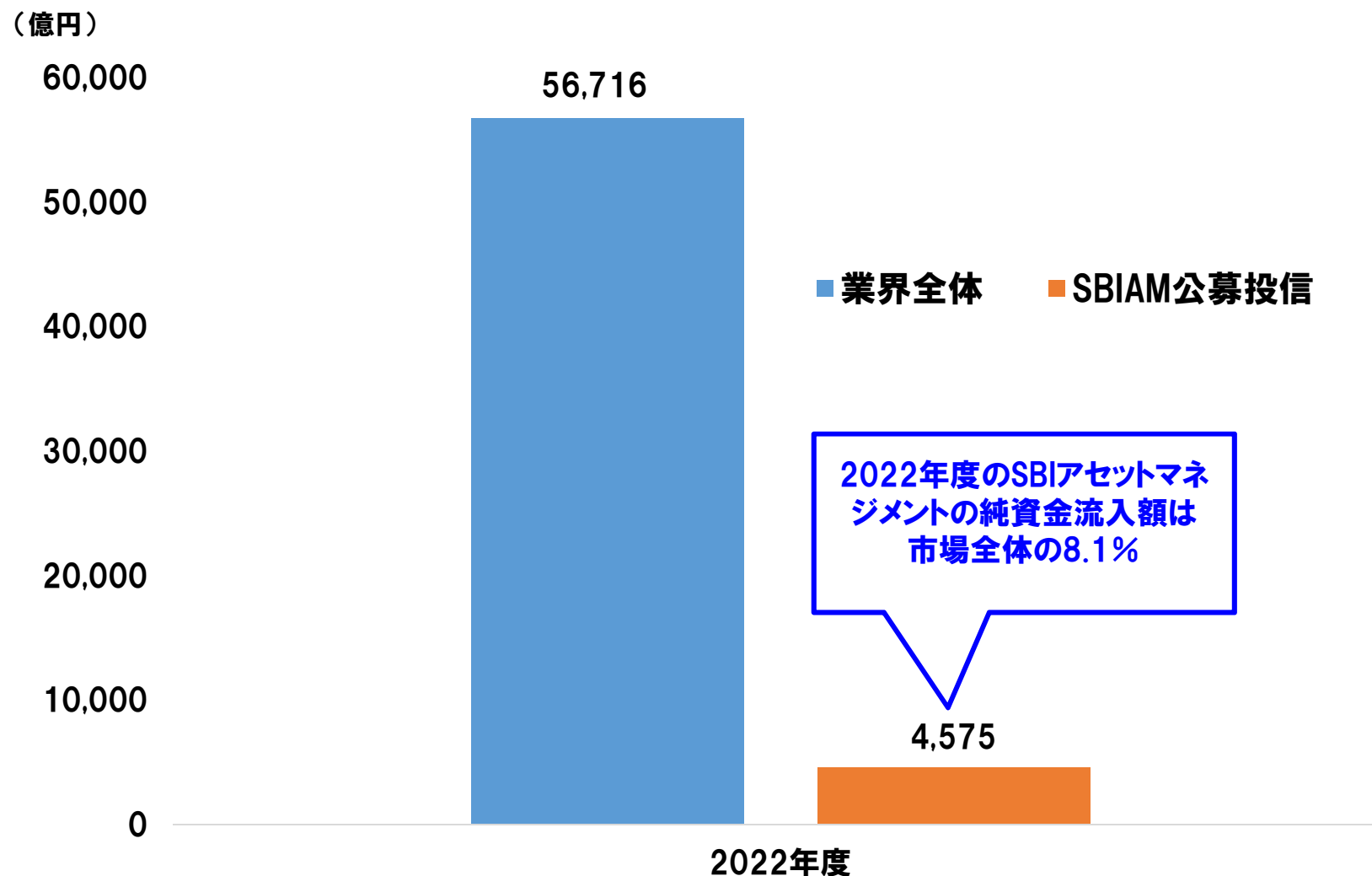
(単位:兆円)



※金融庁「新しいNISA制度」が国民の資産形成を強力に後押し」金融財政事情掲載より

公募投信業界全体とSBIアセットの公募投信の純資金流入額

公募投信全体の純資金流入額の約10%(1割)の獲得を目指す



※ 期間:2022年4月~2023年3月(年次)
公募投信(追加型除くETF)業界全体の数値は分配金控除後。
出所:一般社団法人投資信託協会

「プロダクト・ガバナンス」宣言

投資家の資産形成に資する商品提供

長期・積立・分散投資に活用できるインデックスファンドの提供

⇒同種同等ファンドの総経費率において業界最低水準を目指したインデックスファンドの拡充

情報提供・ 情報開示の強化

- 手数料、信託報酬などの投資コストの
明確な開示(隠れコストの排除)

⇒総経費率開示を2023年8月に開始
投資信託協会が定める2024年
4月21日からの規則改正を
前倒して実施。

商品性・適合性の モニタリングと改善

- アクティブファンドの選択と集中
⇒長期的なパフォーマンス、コスト、
純資産残高等の基準を含む内部規定に則り、
繰り上げ償還の検討および推進
＜プロダクトガバナンス委員会の設置＞
アクティブファンドの57ファンドについて、
3年以内に削減(約半数となる)

業界最低水準コストのインデックスファンド

SBIアセットのインデックスファンド		信託報酬等 (税込み)	純資産残高 (億円)
米国 株式	SBI・V・全米株式インデックス・ファンド	0.0938%	1,751
	SBI・V・S&P500インデックス・ファンド	0.0938%	10,458
	SBI・V・米国小型株式インデックス・ファンド	0.1138%	2
	SBI・V・米国高配当株式インデックス・ファンド	0.1238%	231
	SBI・V・米国増配株式インデックス・ファンド	0.1238%	42
先進国 株式	SBI・先進国株式インデックス・ファンド『愛称:雪だるま(先進国株式)』	0.1022%	179
	SBI・V・先進国株式(除く米国)インデックス・ファンド	0.1138%	6.3
日本 株式	SBI・iシェアーズ日経225インデックスファンド	0.1133%	1.2
	SBI・iシェアーズTOPIXインデックスファンド	0.1133%	0.5
新興国 株式	SBI・V・新興国株式インデックス・ファンド	0.1438%	3.6
	SBI・新興国株式インデックス・ファンド『愛称:雪だるま(新興国株式)』	0.1760%	225
	SBI・中国A株インデックス・ファンド『愛称:雪だるま(中国A株)』	0.4138%	8
世界 株式	SBI・V・全世界株式インデックス・ファンド	0.1338%	274
	SBI・全世界株式インデックス・ファンド『愛称:雪だるま(全世界株式)』	0.1102%	1,291
	SBI・V・世界小型株式(除く米国)インデックス・ファンド	0.1338%	1
米国 債券	SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・ファンド	0.0938%	13
	SBI・iシェアーズ・米国投資適格社債(1-5年)インデックス・ファンド	0.1038%	1.2
	SBI・iシェアーズ・米国短期国債ファンド	0.1138%	4.3
	SBI・iシェアーズ・米国ハイイールド債券インデックス・ファンド	0.2138%	1.2
金	SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド(為替ヘッジあり)(為替ヘッジなし)	0.1838%	8

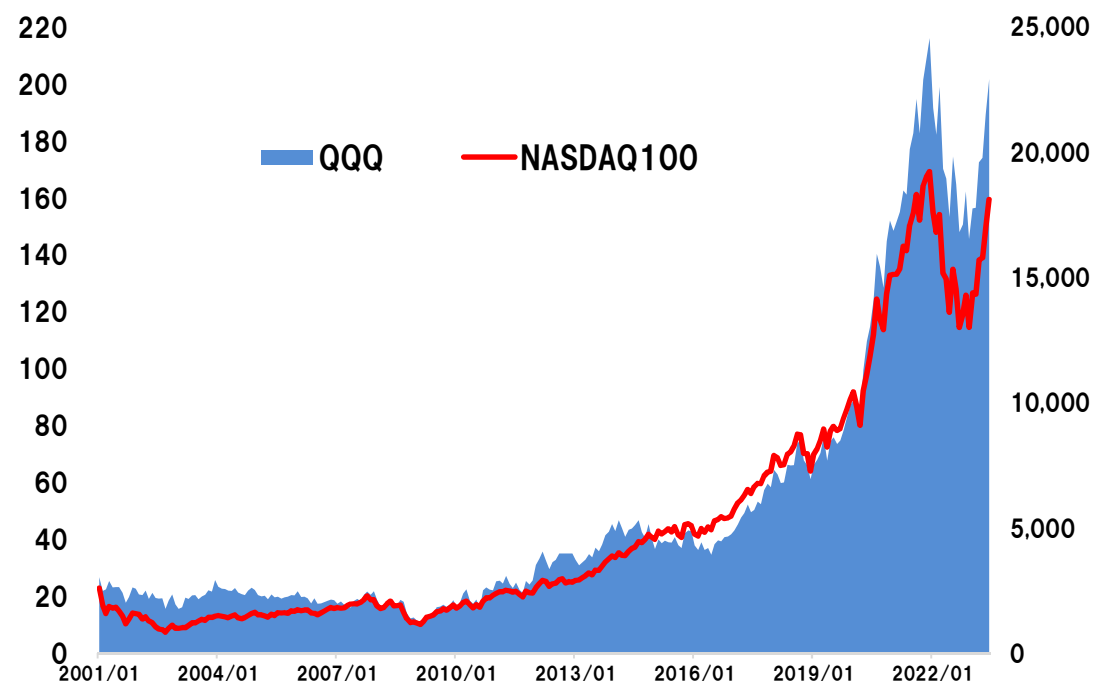
新ファンド 『SBI・インベスコQQQ・ナスダック100インデックス・ファンド』

愛称:雪だるま (QQQ・NASDAQ100)



- 投資対象:インベスコ QQQ トラスト シリーズ1 (QQQ)
インベスコ NASDAQ 100 ETF (QQQM)
- 設定日:8月23日
- 実質的な信託報酬:0.2388%以下(業界最低水準)
- 本邦初のインベスコQQQを投資対象とする
NASDAQ100連動ファンド
- 新NISA:成長投資枠対象

NASDAQ100指数とQQQの純資産額の推移

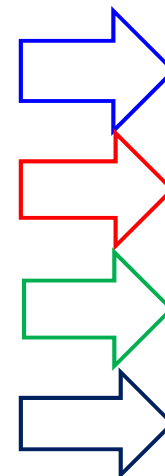
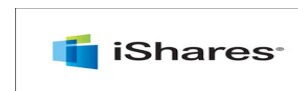


※ 期間:2001年1月~2023年6月

世界の運用会社トップとの共同運用による商品提供

<世界のETF運用会社TOP5>

	運用会社・グループ名	国籍
1	ブラックロック	米国
2	バンガード	米国
3	ステート・ストリート	米国
4	インベスコ	米国
5	チャールズ・シュワブ	米国



SBIアセットの
公募・私募ファンド

<i シェアーズ>

<V・シリーズ>

<雪だるま>

<雪だるま>

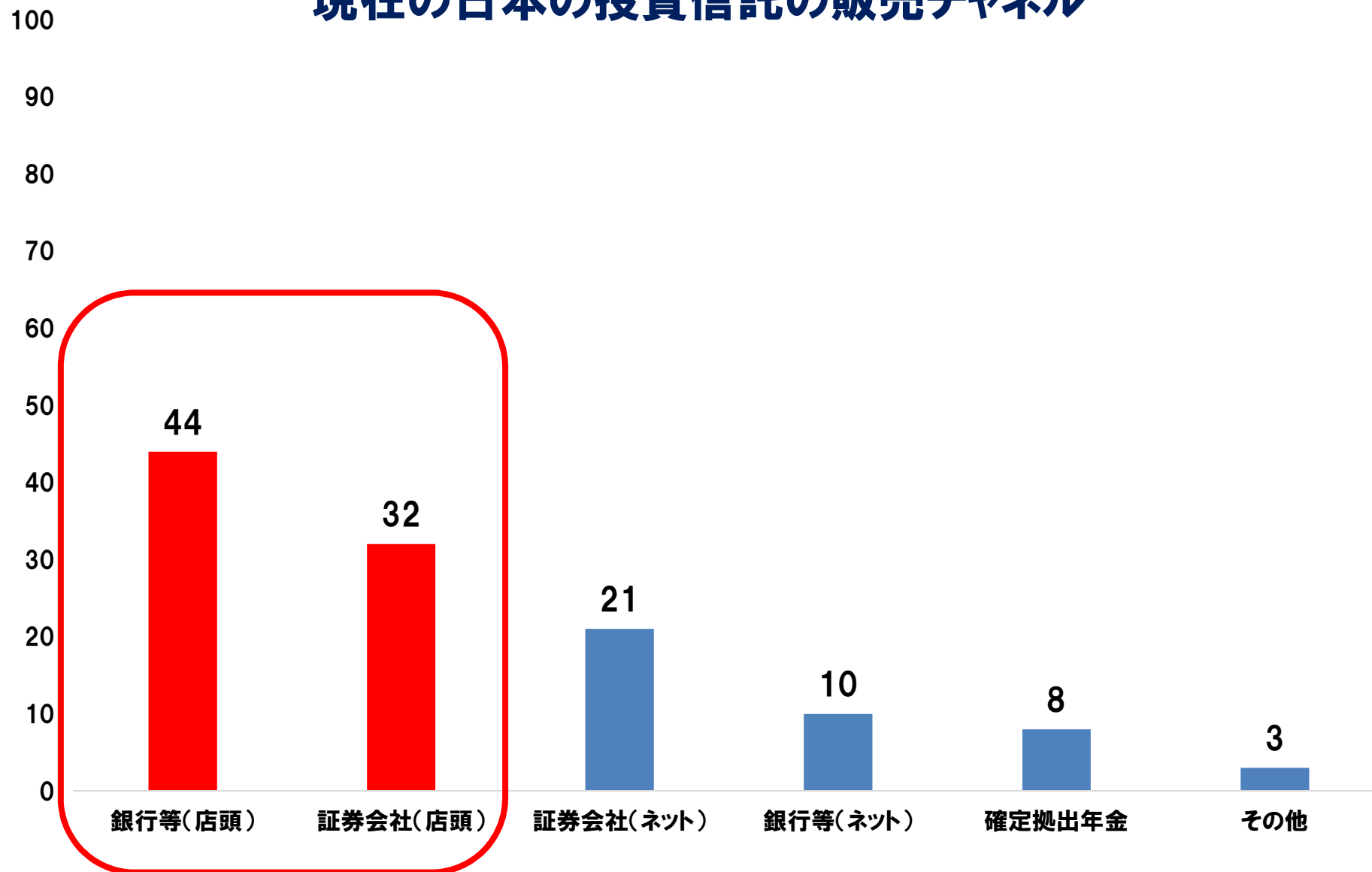


世界の運用会社トップと提携し、日本の投資家に低コストで良質なファンドを提供

投信販売経路は店頭(対面)からネット・DC (iDeCo含む)へ

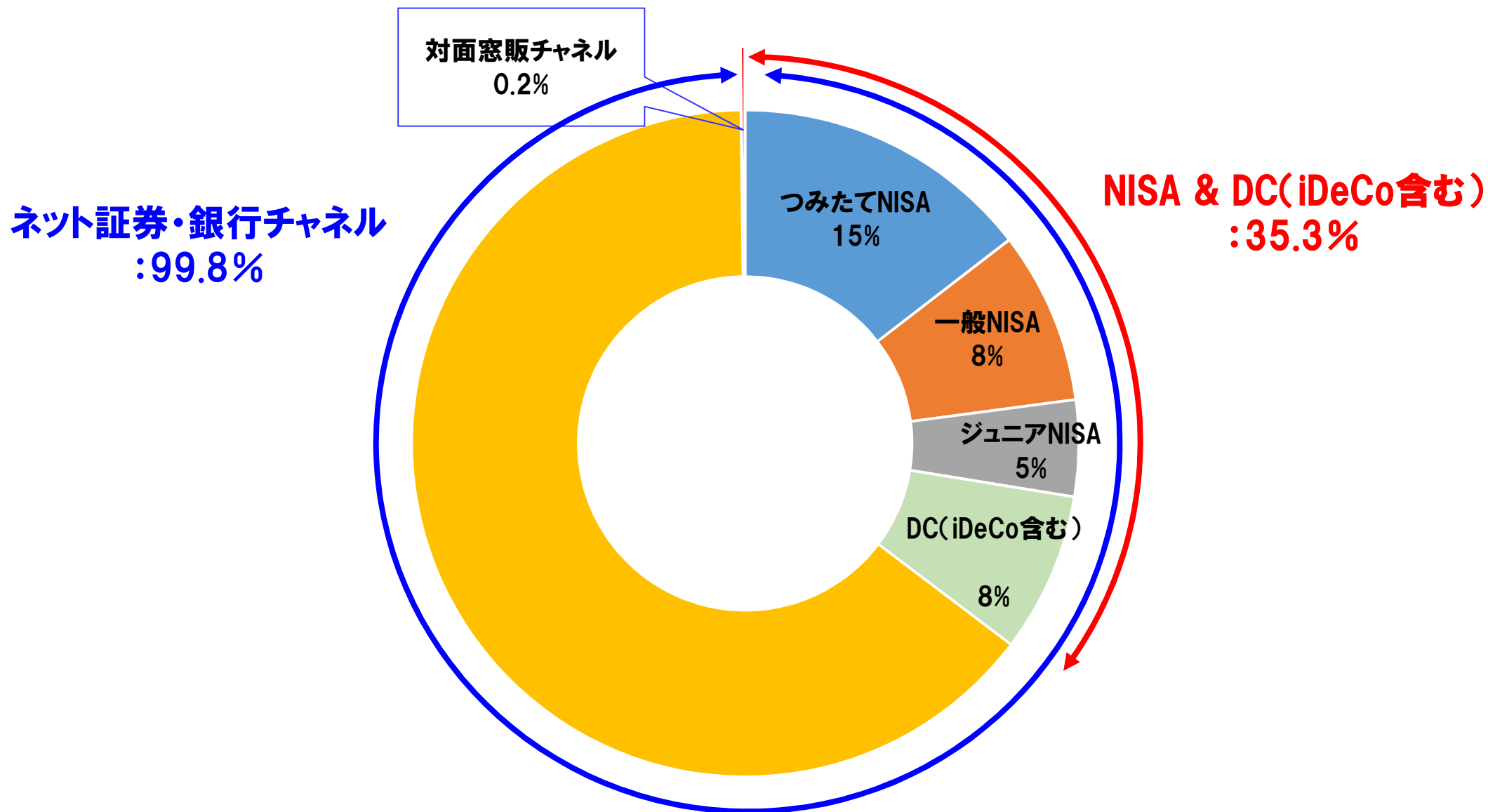
(単位:%)

現在の日本の投資信託の販売チャネル



SBIアセットマネジメントのインデックスファンドの購入経路

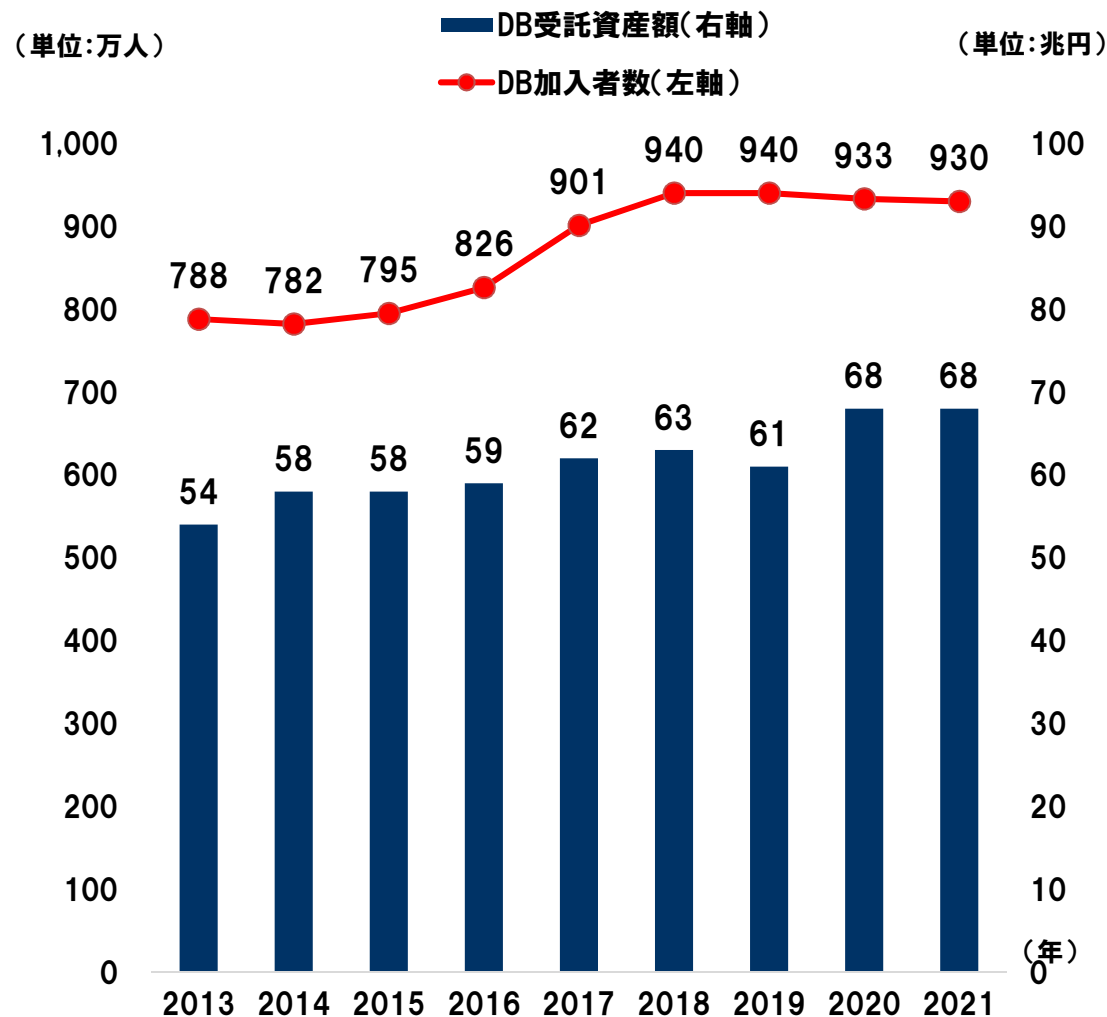
ネットチャネルとNISA & DCチャネルで、ほぼ100% (99.8%) 経由



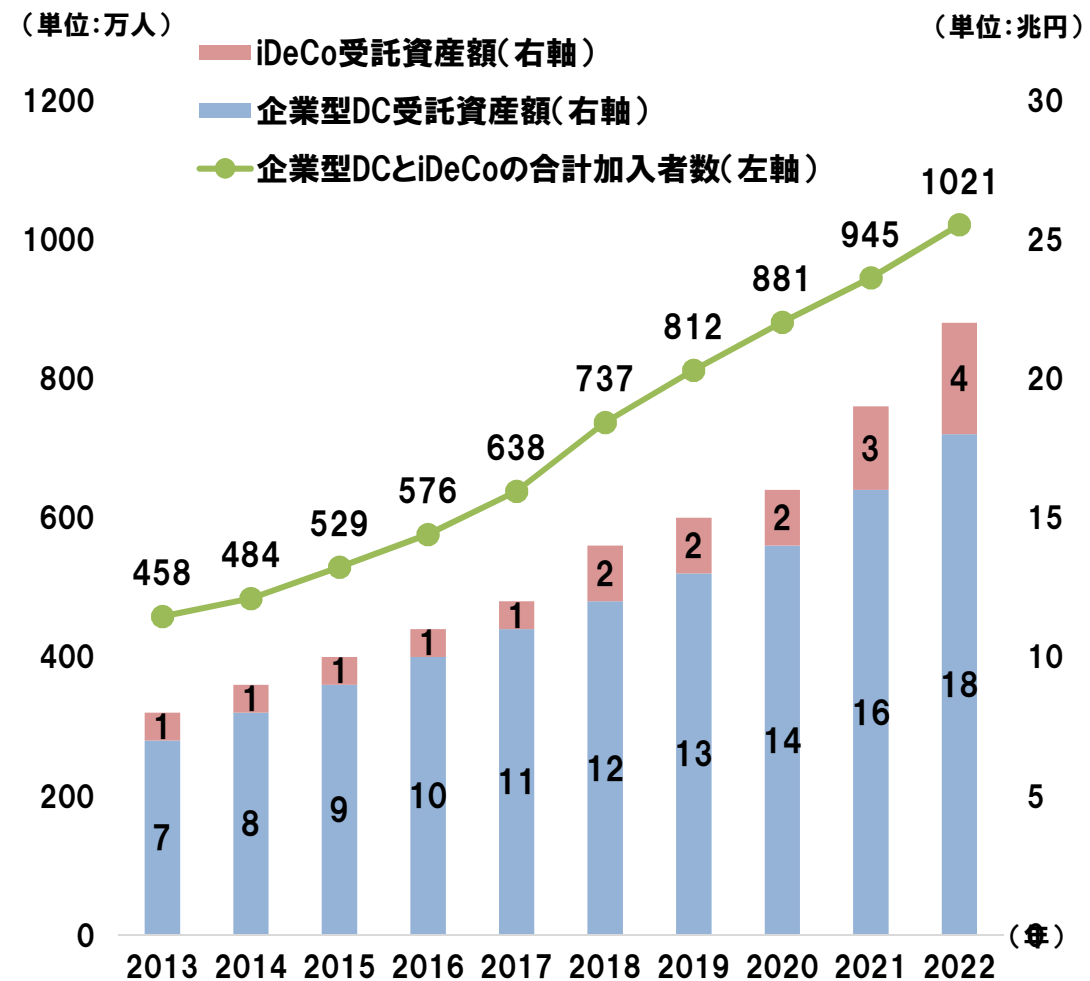
※ NISAデータは2023年4月26日時点、その他は2023年6月末時点

拡大する企業年金マーケットの運用残高

＜DB加入者と受託資産残高推移＞



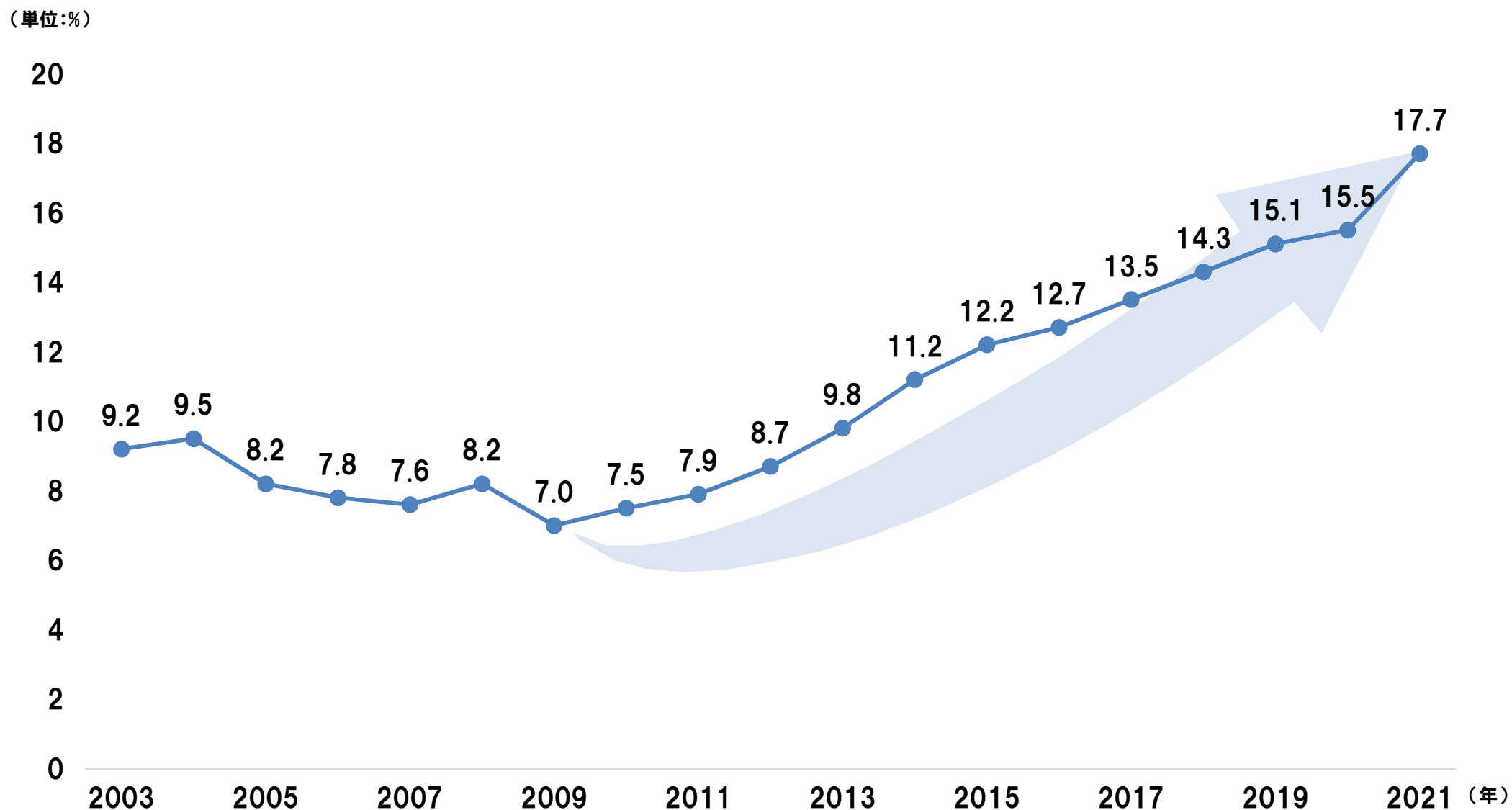
＜企業型DC・iDeCoの加入者数と受託資産額推移＞



SBIグループの広範囲なネットワークを活用して 事業法人・金融法人へアプローチ



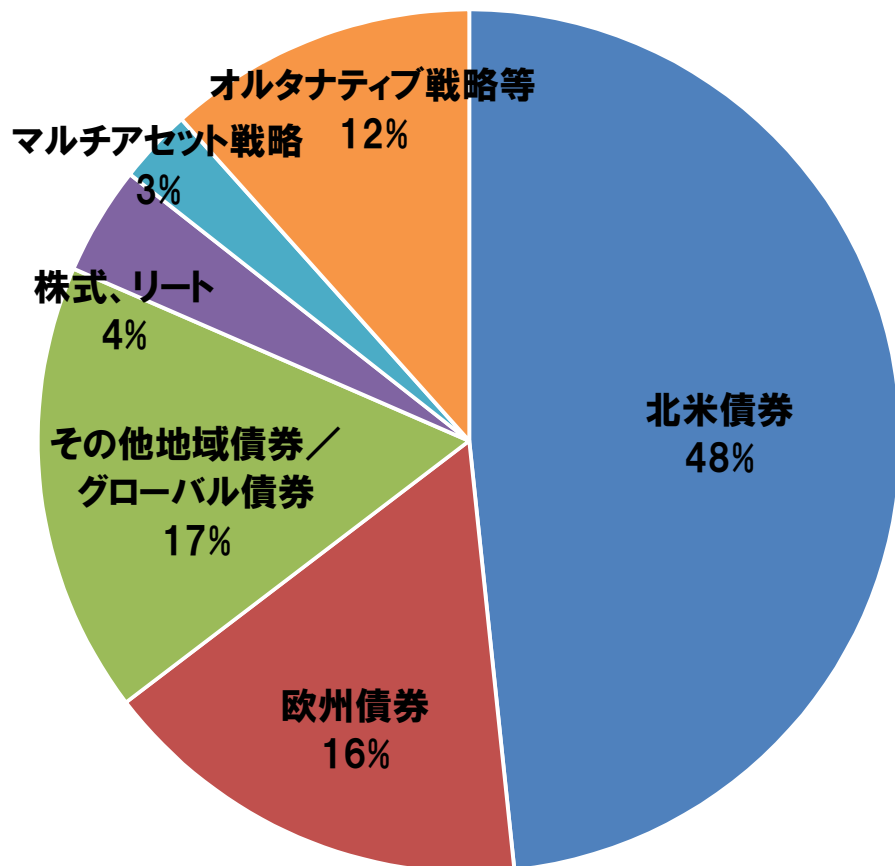
企業年金(DB)のオルタナティブ投資の割合



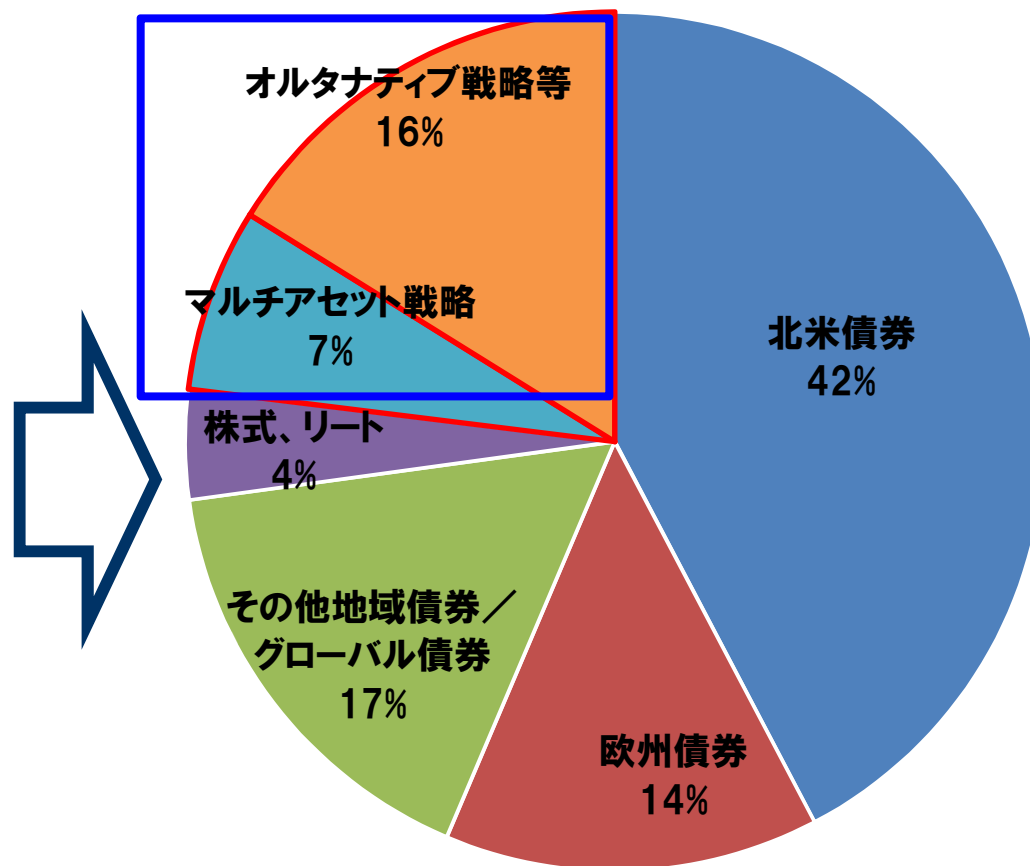
SBIアセットマネジメント受託の私募投信の資産構成比

オルタナティブ戦略・マルチアセットの比率が拡大

2022年6月末時点



2023年6月末時点



「オルタナティブ戦略・資産」を積極的に提供

- SBIホールディングスと英国マングループは新会社設立の基本合意(2023年7月18日)
- Man Groupは1783年に英国で設立された世界最古かつ世界最大級のヘッジファンド運用会社



クオンツ・マルチアセット運用

債券・株式・コモディティ等を対象とする
モメンタム戦略/クオンツマルチ戦略

マルチ戦略/マルチマネージャー

様々な資産クラスやセクター、地域を投資対象とするロングオンリー戦略

クオンツ株式運用

様々な地域やスタイルの企業を
投資対象とする戦略

プライベート市場投資

住宅用不動産に係るデットやスペシャリティ・ファイナンス、クレジット・リスク・シェアリング等



SBIグローバルアセットマネジメントは新会社 (JV) と連携して、
良質なヘッジファンド(オルタナティブ戦略)を日本の投資家に広める役割を果たす

「Wealth Advisor」は 資産運用コンテンツを提供するプラットフォームへ

対面販売金融機関

ネット販売金融機関

運用会社

個人投資家

プロダクト・アウトから
ゴールベース・アプローチへ

ネットチャネルのための
情報提供

適切な情報開示と
マーケティング

金融経済教育
資産運用情報の提供

- Wealth Advisor
- ライフプラン
シミュレーション

- 投信データ提供
- オンラインコンテンツ
- 重要情報シート

- ファンド評価情報
- SNS・動画による
情報配信サポート

- 投資教育ツール
- 資産運用セミナー



データ & IT に特化したプラットフォームへ



投資家主権の確立に貢献

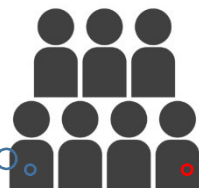
Generative AI(生成AI)を活用した 投資教育・投資助言サービスの提供へ

究極の「One to One」の投資教育・投資助言サービスの提供へ

旧来のフィナンシャルサービス

<個人投資家>

自分にあった
投資信託を探したい



結局何を
選べばいいか
わからない...

検索

結果

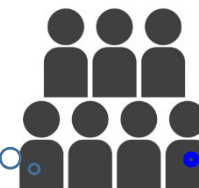


調べたことに対する
「同一の結果」

今後のフィナンシャルサービス

<個人投資家>

自分にあった
投資信託を探したい



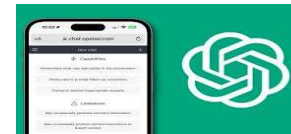
自分にあった
投資信託が
わかる!

質問

回答

生成AI

- テキスト生成(ChatGPT等)
- 音声生成
- 画像生成
- 動画生成



「一人一人に最適な回答」